

アダモス医療・環境関連ニュース No.3

アダモス医療関連ニュース p1～41

(アダモス環境関連ニュース p42～)

認知症によいサプリメント、その効果は

提供元：ケアネット 2014/12/11

大豆レシチンより生成したホスファチジルセリン (PS) とホスファチジン酸 (PA) を配合したサプリメントは、高齢者において記憶、気分、認知機能を改善すること、アルツハイマー病 (AD) 患者の日常機能や感情に対して有益な影響を及ぼすことが明らかにされた。ドイツ・Analyze & realize GmbH の Margret I. More 氏らによる検討の結果、示された。Advances in Therapy 誌オンライン版 2014 年 11 月 21 日号の掲載報告。

研究グループは、大豆レシチンより生成した PS 100mg と PA 80mg を配合した脳の健康を保つための食物サプリメントの有用性を検討するため、早期パイロットスタディを実施した。同様の検討はこれまで行われていない。

はじめに、健常ボランティアにおいて PS+PA 単回摂取後の血清分析を実施。次に、機能障害や抑うつを認めないが記憶に問題のある高齢者（記憶および気分には及ぼす影響をウエクスラー記憶検査とうつ症状リストを用いて評価）を対象とし、3 ヶ月間の二重盲検プラセボ対照試験にて、PS+PA 3 カプセル/日 (300mg PS+240mg PA/日) とプラセボの有用性を比較評価した。さらに、AD 患者を対象とした 2 ヶ月間の無作為化二重盲検プラセボ対照試験において、PS+PA 3 カプセル/日 (300mg PS+240mg PA/日) とプラセボの、日常機能、メンタルヘルス、感情、自己報告による全身状態に及ぼす影響を比較評価した。

主な結果は以下のとおり。

- ・血清中 PS 濃度は、摂取後 90 分でピークに達し、180 分後にベースライン値に回復した。
- ・高齢者において、PS+PA 群 (per protocol [PP] の n=31) ではプラセボ群 (PP の n=26) と比べて記憶力の有意な改善が認められ、摂取前後の比較において冬季うつ病 (ウインターブルー) の抑制が認められた。
- ・AD 患者において、PS+PA 群 (PP の n=53) では日常生活機能 (日常生活における 7 つの活動) が維持されていたが、プラセボ群 (PP の n=39) では 5.62 から 4.90 へと低下し (p=0.035)、有意な群間差を認めた (p=0.021)。
- ・日常生活機能について、PS+PA 群では悪化が 3.8%、安定が 90.6%であったのに対し、プラセボ群ではそれぞれ 17.9%、79.5%であった (p=0.066)。
- ・PS+PA 群では、自己報告による全身状態の改善を認めた患者は 49%であったが、プラセボ群では 26.3%にとどまった (p=0.084)。
- ・PS+PA 群では、試験後もサプリメント摂取 (二重盲検期間中) を継続した患者が約 43%いたが、プラセボを受けた患者はいなかった。ネガティブな副作用は認められなかった。
- ・以上のことから、PS は、経口摂取により効果的に吸収されることが示された。また、高齢者を対象とした試験により、PS+PA の記憶、気分、認知機能に対する有益な効果が示された。AD 患者に対する短期間の PS+PA 摂取は、日常機能、感情、自己報告による全身状態に対し、安定した効果を示した。

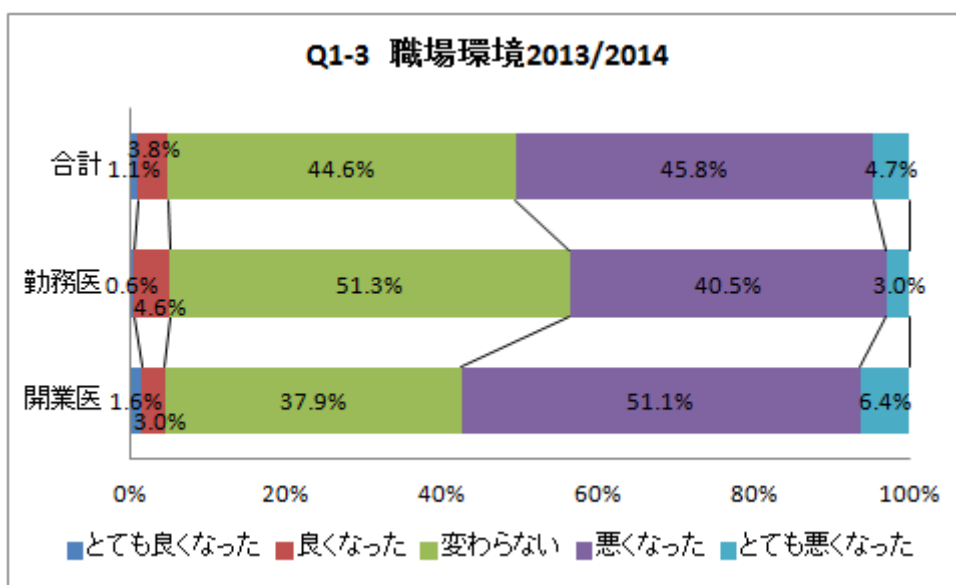
・本パイロット研究の結果は、AD患者そして記憶や認知機能に問題のある高齢者に対するPS+PAの長期試験の実施を促すものであった。(ケアネット)

原著論文; [More MI, et al. Adv Ther. 2014 Nov 21. \[Epub ahead of print\]](#)

2014年の医療界：1000人アンケート 開業医の「環境悪化」、実に2倍に Vol.2 初・再診料などの引き上げも、効果薄く

2014年12月12日(金) 池田宏之 (m3.com 編集部)

Q.1-3 今年(2014年)の職場環境は、昨年(2013年)と比較してどうでしたか。

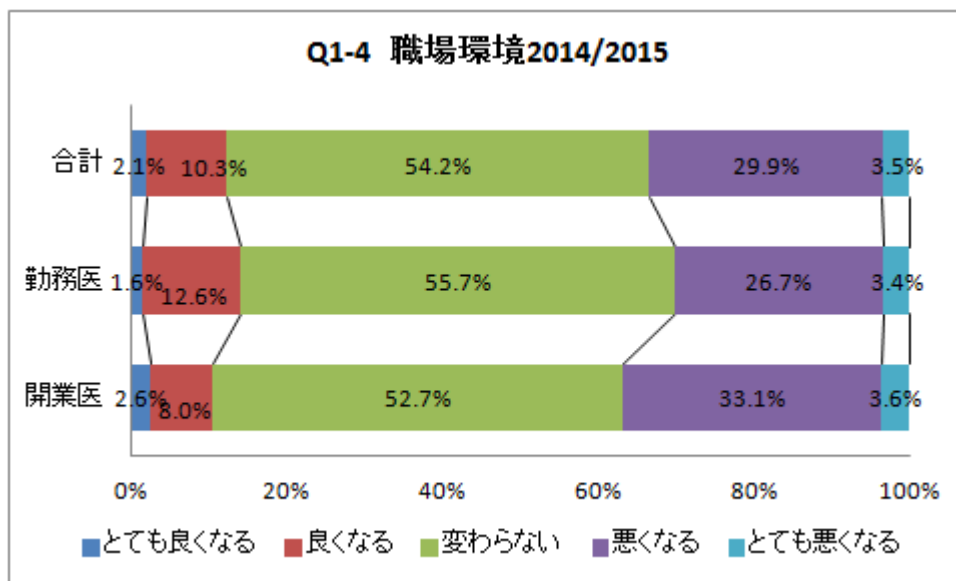


Q.1-3で「2013年と比較した仕事のやりがい、勤務時間や給与などの勤務条件、医師・患者関係、職場の人間関係など総合的に見た2014年の職場環境」について聞いた。

「とても悪くなった」「悪くなった」が合わせ50.5%となり、前回比べて22.8ポイントと大幅に増加した(前回の結果は、『開業医の職場環境、改善傾向◆Vol.2』を参照)。勤務医は43.5%で前回比13.5ポイントの伸び。これに対し、開業医は57.5%で、32.1ポイントの伸びとなり、勤務医の2倍以上に上った。実質マイナス改定となった2014年度の診療報酬改定では、幅広くいきわたるように、初・再診料や入院基本料などに重点的に配分する方針となったが、診療所経営が厳しいためか、逆に不満が拡大したことが伺える。「とても良くなった」「良くなった」との回答は、合計で4.9%となり、前回から10.0ポイント減少した。

Q.1-4 来年(2015年)の職場環境は、今年(2014年)と比較してどうなると考えますか。

Q.1-4で「2014年と比較した2015年の職場環境」について聞いた。「とても悪くなる」「悪くなる」を合わせて、33.4%で、前回比0.5ポイント減少した。



「変わらない」は前回比 1.2 ポイント増、「とても良くなる」「良くなる」は 0.7 ポイント減で、前回と大きく変わらない結果となった。職場環境は、医療政策の結果として現場に表れる側面があるが、12 月中旬の衆院選を経ても、2012 年末に誕生した自民党政権による医療政策と大きく変わらないと見通している側面もありそうだ。

勤務医における「とても悪くなる」「悪くなる」は 30.1 ポイントだったのに対して、開業医では 36.7 ポイント。開業医の方が、6.6 ポイント高く、若干暗い見通しを持っていることが伺えた。

がん生存率の動向～日本含む 67 カ国 2,570 万例のデータ／Lancet

提供元：ケアネット 2014/12/10

CONCORD ワーキンググループでは、1995～2009 年における 67 カ国のがん登録データを調査し、がん種別、国・地域別、期間別に 5 年生存率を推定した結果を報告した。生存率の大きな違いは、早期診断と最適な治療へのアクセスの差による可能性が高い。著者らは、「継続的な世界的サーベイランスは、がん患者と研究者において不可欠な情報源となり、また保健政策と医療システム改善のための政治家への刺激となるだろう」と述べている。Lancet 誌オンライン版 2014 年 11 月 26 日号に掲載。

本サーベイランスには、67 カ国 279 集団のがん登録から、1995～2009 年のがんと診断され、2009 年 12 月 31 日以降まで追跡された成人（15～99 歳）2,570 万例および小児（0～14 歳）7 万 5 千例の記録が提出された。ワーキンググループは、胃がん、結腸がん、直腸がん、肝臓がん、肺がん、乳がん（女性）、子宮頸がん、卵巣がん、前立腺がん（成人）、白血病（成人・小児）について、年齢（1 歳毎）、性別、暦年、人種や民族（一部の国において）によって調整した 5 年生存率を推定した。計算にあたっては、年齢で調整した生存率計測のための世界標準人口（International Cancer Survival Standard）に沿って行った。

2005～2009年に診断された各がん患者における5年生存率は以下のとおり。

【結腸がん・直腸がん・乳がん】

ほとんどの先進国で着実に上昇している。結腸がん・直腸がんでは22カ国で60%以上に達し、乳がんでは17カ国で85%以上に上昇した。

【肝臓がん・肺がん】

すべての国で低いままである。ヨーロッパではどこの国も20%未満、北米では15～19%、モンゴルとタイでは7～9%と低い。

【前立腺がん】

多くの国で著しく上昇した。南米、アジア、ヨーロッパの22カ国で、1995～1999年から2005～2009年の間に10～20%上昇した。しかし、ブルガリアやタイでは60%未満、ブラジルやプエルトリコ、米国では95%以上と、国によって開きがある。

【子宮頸がん】

50%未満から70%以上と地域によって大きな差がある。1995～1999年から2005～2009年の間の改善はわずかである。

【卵巣がん】

エクアドル、米国、アジアおよびヨーロッパの17カ国のみ、40%以上であった。

【胃がん】

他の国が40%未満であるのに比べて、日本（54.0%）と韓国（57.9%）が高かった。

【成人白血病】

胃がんと対照的に、日本（18.9%）と韓国（23.4%）が他のほとんどの国に比べて低かった。

【小児急性リンパ芽球性白血病】

いくつかの国で60%未満だが、カナダ、欧州の4カ国では90%と高い。

（ケアネット 金沢 浩子）

原著論文はこちら

[Allemani C, et al. Lancet. 2014 Nov 26. \[Epub ahead of print\]](#)

注射位置誤り賠償命令 関節炎に、北九州の病院

共同通信社 2014年12月10日(水)

北九州市立八幡病院（同市八幡東区）で子宮頸（けい）がんワクチンを接種した際、誤った位置に注射されたため関節炎になったとして、市内の50代の女性が約1560万円の損害賠償を求めた訴訟の判決で、福岡地裁小倉支部は9日、市に約760万円の支払いを命じた。

判決で足立正佳（あだち・まさよし）裁判長は、注射を左肩の適正な位置よりおよそ3センチ高い場所にされ、ワクチンに含まれる成分が左肩の関節炎を誘発したと認定。「注意義務違反があった」と判断した。

判決によると、女性は2010年、医師から子宮頸（けい）がんワクチンを注射された。左肩に違和感を抱き、6日後に別の病院で診察を受けたところ、炎症が認められた。症状は現在も残っている。女性は判決後、北九州市で記者会見し、病院に対して「判決内容を誠実に受け止め、改善を図ってほしい」と述べた。

北九州市の北橋健治（きたはし・けんじ）市長は「内容を精査して対応を検討する」とのコメントを出した。

トイレのハンドドライヤーはペーパータオルよりも細菌をまき散らす

提供元：HealthDay News 2014/12/08

公衆トイレの温風式ハンドドライヤーは、従来のペーパータオルよりもはるかに多くの細菌を拡散する可能性があることが新たな研究でわかった。

この研究では、手洗いが不十分な状態を再現するために、ボランティアの手に無害な細菌を付着させた。その後で温風を出すハンドドライヤー、強力な「ジェットエア」ドライヤー、またはペーパータオルを使って手を乾かしてもらった。

空中に浮遊している細菌の量を測定したところ、ペーパータオルの場合よりも2種類のドライヤーのほうが、周囲の細菌量が多くなっていた。最も悪い結果だったのはジェットエアドライヤーで、周囲の浮遊菌量は温風ドライヤーの4.5倍、ペーパータオルの27倍だった。

またハンドドライヤー使用後は、時間が経っても細菌は空中に留まることもわかった。使用後5分以上経過しても周囲には細菌の48%が残存しており、15分後も細菌が検出された。

研究著者の1人である英リーズ大学のMark Wilcox氏は、「公衆トイレでハンドドライヤーを使って手を乾かすと、知らないうちに細菌を拡散している可能性がある。また、他人の手の細菌をあびている可能性もある。この研究結果は、疾患や病気を媒介しうる細菌がどのように広がるかを理解するうえで重要だ」と話す。

この研究結果は「Journal of Hospital Infection」11月20日号に掲載され、仏リヨンで開催されたヘルスケア感染学会（HIS）国際会議でも発表された。

原著論文; Best EL, et al. J Hosp Infect. 2014;88:199-206.

米国のがん死亡の30%は喫煙が原因

提供元：HealthDay News 2014/12/22

米国では喫煙率が大幅に低下しているにもかかわらず、依然としてがんによる死亡の3分の1はたばこに起因するものであることが、新たな研究で報告された。

米国がん協会（ACS）の研究グループは、「今回の結果から、現代の米国において、がんによる死亡のうち約10件中3件は喫煙が原因であると示された。今後のがん死亡を予防するための公衆衛生上の取り組みとして、できる限り早急に喫煙率を低下させることを最優先とする必要がある」と述べている。

今回の研究では、最新の数値を得るため、2010年の全国データを分析した。この最新のがん死亡数の推定値には、受動喫煙による死亡は含まれておらず、葉巻、パイプ、無煙たばこなどの他種のたばこによる死亡も含まれていない。この研究は「Annals of Epidemiology」に掲載された。

30年以上前、ある画期的な研究により、米国でのがんによる死亡全体の30%が喫煙に起因しているとの結論が示された。しかしそれ以降、新たな推定値が科学文献として発表されたことはなかったという。

研究グループによると、2010年における喫煙関連のがん死亡率は、30年前よりも高くなっている。しかし、喫煙率の低下ががん死亡の低減に寄与していないわけではないという。

2010年に比率が高くなったのは、むしろ喫煙率以外の因子が原因と考えられる。例えば、喫煙に起因することが知られるがんの数が増えたこと、女性喫煙者の肺がんによる死亡率の増大、喫煙以外の因子に関連したがんによる死亡の減少などが挙げられると、研究グループは述べている。

クリスマスは本当に自殺者が多いのか

提供元：ケアネット 2014/12/19

クリスマスの時期は他の休日と比較して、オーストリアにおける自殺率が低いことが、オーストリア・パラケルスス医科大学のMartin Ploderl氏らによる研究で明らかになった。このことは、楽しい休日を過ごすはずだったのに期待外れに終わった失望が自殺率に影響するとした「broken-promise effect」の仮説を打ち消すものであり、より適切なタイミングで自殺予防を行う手助けとなりうるかもしれない。European journal of public health 誌2014年9月22日号の掲載報告。

クリスマスが近くなると自殺が増えるという神話に反し、複数の研究では、クリスマスが近づくと自殺率が低下し、新年初めに通常に戻るあるいはピークとなることが明らかになっている。そのため、本研究では、オーストリアにおいてもこの現象が起こるのかについて調査した。

分析は、2000～2013年の公式の自殺統計に基づき、ポアソン回帰分析およびベイジアン変化点分析を用いて行った。他の主要な祝日と週末における自殺率の変化についても調査した。季節的な影響は、解析する期間を限定することで制御した。

主な結果は以下のとおり。

<自殺率の推移>

- ・クリスマスが近づくと低下し、12月24日に最低となった。
- ・12月25日から大晦日までは低いまま推移した。
- ・1月1日に最高となったが、年明けの1週間は平均レベルで推移した。
- ・復活祭（Easter）の翌週に増加した。
- ・週末後の、月曜日、火曜日に増加した。
- ・聖霊降誕祭（Whitsun；復活祭の7週間後の日曜日）の後や、夏季休暇後の週では、有意な変化はみられなかった。

（ケアネット 武田 真貴子）

原著論文;[Eur J Public Health. 2014 Sep 22. pii: ckul69. \[Epub ahead of print\]](#)

肥満児の脳は砂糖に強く反応する

提供元：HealthDay News 2014/12/26

肥満した小児の脳は、健常体重児に比較し、砂糖に対して強い反応を示すことが、脳MRI画像を用いた解析で明らかになった。肥満児では食物に対する脳の報酬反応が増強されているために砂糖をより多く渴望するという説を裏付ける知見だという。

筆頭著者である米カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD) 精神医学教授で同大健康的食事・行動研究センター設立者である Kerri Boutelle 氏は、「8歳児で検出されるこの脳の差は、今回の研究でもっとも注目し、臨床的に意義も大きいものである」と述べている。

「International Journal of Obesity」オンライン版に12月11日掲載された論文によると、研究では8～12歳の23例に砂糖水（スクロース水）を飲ませ、脳MRI像を撮影した。

その結果、肥満した児では健常体重児に比較して、砂糖を摂取したときの知覚、感情、意識、味覚、意欲、報酬に関わる部位の活性が大きいことが分かった。

Boutelle 氏は、「肥満の専門家は皆、体重を減らすのは難しいから予防面で対処する必要があるというが、今回の結果は、その予防を非常に早い時期に始めなければならないという警鐘だといえるだろう。一部の小児は食物に対して過剰に強い感受性をもって生まれている。あるいは食物と快感の関係を他の児より早く学習する可能性があるからだ」と説明している。

米国では小児の約3分の1が過体重か肥満の状態にある。過去の研究では、肥満児の80～90%は成人になっても肥満していることが示されている。

インフルエンザワクチン、小児に効果大 流行のA香港型で6割

毎日新聞社 2014年12月25日(木)

この冬に流行中のA香港型インフルエンザについて、15歳以下の小児でワクチンの効果が予想以上に高いことが、慶応大の研究グループの調べで分かった。接種を受けた小児の約60%に発病を抑える効果が見られるという。グループ代表でけいゆう病院小児科の菅谷憲夫医師は「予想外の結果だ。未接種の人は早めにワクチン接種を受けてほしい」と呼び掛けている。

グループは、11月中旬～12月中旬、関東を中心とした14医療機関の生後6カ月～15歳の受診者を分析。迅速診断でA型のインフルエンザ陽性だった109人のうち、67%に当たる73人がワクチン接種を受けていなかった。陰性の人の接種の有無の割合なども考慮し、統計学的にA型に対するワクチンの効果を60%と算出した。

菅谷医師によると、ワクチン接種により、ウイルスを攻撃するヒトの抗体が、標的となるウイルスに対して幅広く効果を示すようになる。今季の流行の主流はワクチンの効果が低いとされるA香港型(H3N2)だが、ワクチンによって得られる抗体の効果が今回のウイルスに有効だと考えられるという。【藤野基文】

中央社会保険医療協議会 病医院の4割、訪問診療の収入が減少

集合住宅への点数引き下げ影響は軽微

2014年12月24日(水) 橋本佳子 (m3.com 編集長)

中央社会保険医療協議会総会(会長:森田朗・国立社会保障・人口問題研究所所長)は、12月24日の会議で、「同一建物同一日の訪問診療等の適正化による影響調査」の速報について議論、改定後に集合住宅等への訪問診療から撤退した医療機関が見られるものの、

その後に必要な医療は確保されたことなどから、2014年度の訪問診療関連の診療報酬改定による影響は軽微であると評価した（資料は、[厚生労働省のホームページ](#)に掲載）。

ただし、診療所の41.3%、病院の40.1%が「訪問診療に係る収入が減った」と回答。「減っていない」（診療所38.0%、病院37.4%）を上回っており、医療機関により改定影響の明暗が分かれた実態も浮き彫りになっている。

2014年度改定では、集合住宅などに入居する高齢者への不適切な訪問診療を是正するため、「同一建物同一日」の訪問診療料は大幅に減額され、4分の1になった。また療養担当規則で、訪問診療の患者紹介を受ける対価として、経済上の利益を提供する契約を結ぶことも禁じられた。その現場への影響を他の改定項目に先んじて速報で出し、検証することが求められていた（『「患者紹介で対価」、今改定以降減ったのか?』を参照）。

12月24日の中医協総会では、費用対効果評価の今後の進め方や、最先端医療迅速評価制度についても議論（『費用対効果評価、1月から部会で議論』、『再生医療と医療機器、3カ月で先進医療に』を参照）。

「訪問診療は外来通院が不可の人が対象」と白川氏

医科医療機関への調査では、訪問診療を行っている居宅・施設数、患者数の平均は、診療所と病院ともに、改定前後の比較で概ね同等かやや増加、居宅・施設への訪問回数の平均は増加していた。

集合住宅への調査では、「訪問診療・往診を行っている病院・診療所が減った」と回答したのは、792施設中、59施設。そのうち病院・診療所側の都合で訪問診療等を取りやめたのは38施設だが、他の医療機関が訪問したり、外来診療に切り替えるなどして対応しており、「引き受け先が見つからないため、都道府県等に相談したが、目途が立っていない」は1施設のみだった。

療養担当規則で禁止されている「患者紹介に伴う経済上の利益提供契約」を行っている施設が、依然存在することも判明。診療所では改定前の1.3%から、改定後は0.2%（1施設）。病院では改定前後とも0%だった。

日本医師会常任理事の鈴木邦彦氏は、次のように述べ、今改定を支持した。「一部の事業者が撤退したのは、やむを得ないが、必要な医療は確保されている。また同一建物の患者は、それ以外の患者よりも、認知症は多いものの、要介護度は低く、提供している医療も、健康相談、血圧・脈拍の測定、服薬援助・管理のみにとどまる例が多い。訪問時間も短いため、（同一建物同一日の訪問診療等の点数を引き下げた）今改定の内容には、一定の妥当性があったと考えられる。訪問診療の収入が減ったという回答はあったが、在宅医療全体に影響に及ぼすほどとは言えず、適切な在宅医療を推進すべく、次の改定に向けて議論していくことが必要」。

健康保険組合連合会副会長の白川修二氏も、「全体として改定による訪問診療による影響は少ないというか、むしろよい方向に進んだと思う」と評価。ただし、今後改善すべき点もあるとした。その一つが、同一建物への訪問診療のさらなる適正化だ。

白川氏が指摘したのは、（1）医師1人当たりの訪問診療人数は、非同一建物の患者については「1～5人」が最も多かったものの、同一建物については「41人以上」という回答も、591施設中、17施設ある、（2）患者1人当たりの訪問診療時間は、同一建物の患

者は7.5分で、非同一建物の患者の19.0分の半分以下、(3)提供している医療の内容は、「健康相談」「血圧・脈拍の測定」「服薬援助・管理」のみに該当する患者は、同一建物では55.2%、非同一建物の40.9%よりも多い——などの点だ。「大規模な高齢者施設に行き、入居している人を集めて、健康診断をしているという疑いも生じる。訪問診療は外来通院が不可の人が対象だが、その原則から離れている例が一部あるのではないか」と白川氏は指摘した。

鈴木氏も次回改定の課題として、介助があれば通院可能な患者への通院手段の確保を挙げた。「訪問診療を行っている理由」として、「介助があれば通院可能だが、介助の確保が困難」との回答が、同一建物の患者の37.7%、非同一建物の患者の28.3%を占めた。

「通院が困難なわけではないが、患者が居住する施設が希望した」も、同一建物の患者で3.6%。2014年度診療報酬改定では、「訪問診療は、外来通院が困難な患者が対象」との方針が明確に打ち出されており、次回改定ではその徹底が図られそうだ。

「同一建物同一日の訪問診療等の適正化による影響調査」は、医科医療機関、訪問看護、歯科医療機関、薬局、集合住宅の計5区分で、今年8月から10月にかけて実施した。

医科医療機関調査は、(1)在宅療養支援診療所(1500施設)、(2)在宅療養支援病院(500施設)、(3)在宅時医学総合管理料または特定施設入居時等医学総合管理料の届け出施設(500施設)——の計2500施設を対象とし、計755施設(有効回答率30.2%、病院161施設、診療所593施設、無回答1施設)から有効回答を得た。集合住宅調査は、2000施設を対象に実施、有効回答数792施設(有効回答率39.6%)だった。内訳は、サービス付き高齢者住宅181施設、有料老人ホーム175施設、認知症高齢者グループホーム183施設など。

なお、本調査とは別に、地方厚生局と都道府県から厚生労働省に報告された、集合住宅等からの医療機関の撤退事例も紹介された。今年4月以降、7月9日までに報告されたのは7件。有料老人ホーム4件、サービス付き高齢者住宅3件。ただし、いずれも他の医療機関が対応するなどして、必要な医療は確保済みという。

2014年の医療界：1000人アンケート

ノバ社やSTAP研究不正抑えた今年の1番のニュース Vol.5

消費税率引き上げ、診療報酬改定など目白押し

2014年12月24日(水) 池田宏之 (m3.com 編集部)

Q.5 2014年の10大ニュースは何だと思われますか(10個まで選択可)。

10大ニュース

順位	勤務医	得票	開業医	得票
1	<u>エボラ出血熱、アフリカ以外にも拡大確認(8月)</u>	195	<u>エボラ出血熱、アフリカ以外にも拡大確認(8月)</u>	190
2	<u>厚労省がノバルティス社を</u>	176	<u>厚労省がノバルティス社を告発、薬事法</u>	156

	<u>告発、薬事法違反、論文問題 (1月)</u>		<u>違反、論文問題 (1月)</u>	
3	<u>STAP 論文撤回、新たに5つの誤りも (7月)</u>	135	<u>STAP 論文撤回、新たに5つの誤りも (7月)</u>	136
4	理研、小保方氏ら「STAP 細胞、作成に成功」と発表 (1月)	127	<u>CDB 笹井芳樹副センター長死亡、自殺か、遺書見つかる (8月)</u>	118
5	<u>CDB 笹井芳樹副センター長死亡、自殺か、遺書見つかる (8月)</u>	112	<u>初診料 12 点、再診料 3 点アップ、消費増税対応 (1月)</u>	114
6	<u>小保方氏が会見、「自分以外の再現例ある」「200 回成功」 (4月)</u>	104	理研、小保方氏ら「STAP 細胞、作成に成功」と発表 (1月)	97
7	<u>首相、消費税率 10%への引き上げ先送り、衆院解散へ (11月)</u>	83	消費税率、5%から 8%に、17 年ぶり税率上昇 (4月)	96
8	<u>ディオバン疑惑、事実解明できず報告書、厚労省検討委 (3月)</u>	78	<u>首相、消費税率 10%への引き上げ先送り、衆院解散へ (11月)</u>	95
9	<u>2014 年度診療報酬改定、答申・決定へ (2月)</u>	69	<u>小保方氏が会見、「自分以外の再現例ある」「200 回成功」 (4月)</u> <u>「血圧 147 で健康」と人間ドック学会、医学会は反論 (4月)</u>	80
10	<u>初診料 12 点、再診料 3 点アップ、消費増税対応 (1月)</u> 消費税率、5%から 8%に、17 年ぶり税率上昇 (4月)	66		

11 位以降はこちら

Q.5で「2014年の10大ニュース」を、m3.comに掲載した主要な93のニュースの中から、最大10の選択肢を選べる形式で聞いた（回答者、勤務医501人、開業医501人）。

1位は、勤務医、開業医ともに「エボラ出血熱、アフリカ以外でも確認」（8月）で、勤務医195人、開業医190人となった。最初に確認されたのは1970年代で、アフリカでは定期的に感染の拡大が報じられてきたが、今年までアフリカ以外への拡大は確認されてこなかった。今年に入って感染が拡大し、夏には現地で支援に従事した後、米国やスペインなどに戻った医療者などの発症が確認され、スペインでは3次感染の可能性が出た。

日本においても、検疫体制が強化されてきたが、11月には、西アフリカからの帰国者が発熱する疑い症例が発生し、指定医療機関以外を受診するなどして、混乱を招いた。さらに富山化学工業の「アビガン」がエボラ治療への有用性が指摘されるなどの話題もあり、多くの医師が注目したとみられる。12月に入って、日本では話題が下火になっているが、アフリカではいまだ患者が増加していて、世界保健機関などによる対応が続いている。

2位は、「厚労省がノバルティス社を告発、薬事法違反、論文問題（1月）」となった。2013年の1位だった「バルサルタン、京都府立医大が降圧剤論文撤回（2月）」に続いて、上位に入った（2013年の結果は、「2013年の10大ニュースは？ Vol.4」を参照）。この告発もあって、東京地検特捜部が捜査した結果、6月には、元ノバルティスファーマ社の社員が、薬事法違反の疑いで逮捕された。一方で、3月には、再発防止のための厚労省の検討委員会が報告書をまとめたが、調査に強制力がないまま、実態解明できずに終わり、勤務医で8位に入った。厚労省は、来年以降、臨床研究を規制する法案を国会に提出する。

「高血圧」という身近な疾患であるだけでなく、5大学が舞台になったことが、注目度が引き続き高かった原因と見られる。

勤務医の3位から6位まで独占したのは、理化学研究所旧発生・再生科学総合研究センター（CDB）の小保方晴子ユニットリーダーらが、1月末にNature誌に発表したあと、捏造疑惑が浮上したSTAP細胞関連のニュース。開業医でも、3位、4位、6位、9位となり、注目度の高さを伺わせた。3位は、ともに7月のSTAP細胞論文の撤回。昨年のディオバンの問題では、Lancet誌に掲載された東京慈恵会医科大学の論文が撤回されたのに続いて、日本の研究への信頼を著しく低下させる結果になった。

また、小保方氏の指導役であった笹井芳樹・副センター長が8月に死亡した。研究不正における責任を問う声があっただけでなく、プライベートに迫る報道もあり、ストレスを感じていた可能性が高い。真偽は定かでない情報も多い中、日本におけるトップ研究者を失ったのは事実で、大きな衝撃が走った。その後、理研は外部有識者の委員会に「CDBの解体」などを提言され、CDBは名称を変更した上で、研究室が半減した。理研という世界的にも知られた研究施設の不正は、多くの医師にとって印象深い出来事だったことが伺える。

致死率の高い疾患の世界的拡大や、研究不正が目立ったが、政治サイドの動きも活発だった。勤務医10位、開業医7位となったのは、「消費税率、5%から10%へ、17年ぶり税率上昇（4月）」。一方で、2014年度の改定は、初再診料や、入院基本料に厚く配分されたが、実質の改定率はマイナス1.24%となり、関連の話題もランクインした。

年末に入っても、政治の動きは活発で、勤務医、開業医、ともに7位となったのは、消費税10%への引き上げ延期や、経済政策の信を問うた安倍晋三首相の衆院解散方針発表となり、最後まで慌ただしい一年間だったことが伺える。

2014年の医療界：1000人アンケート

山中氏、横倉氏抑えた医療界の顔は？ Vol.4

塩崎氏や麻生氏ら閣僚も上位に、2014年版

2014年12月19日(金) 池田宏之 (m3.com 編集部)

Q.4 2014年の医療界のキーパーソンは誰だと思われませんか(複数選択可)。

トップ10(「得票」の単位は人数)

順位	勤務医	得票	開業医	得票
1	<u>安倍晋三氏</u> (内閣総理大臣)	335	<u>安倍晋三氏</u> (内閣総理大臣)	347
2	山中伸弥氏 (京都大学 iPS 細胞研究所 所長)	146	山中伸弥氏 (京都大学 iPS 細胞研究所所長) <u>横倉義武氏</u> (日本医師会会長)	125
3	<u>塩崎恭久氏</u> (厚生労働大臣)	99		
4	<u>横倉義武氏</u> (日本医師会会長)	81	<u>塩崎恭久氏</u> (厚生労働大臣)	99
5	<u>高久史麿氏</u> (日本医学会会長) <u>村木厚子氏</u> (厚生労働事務次官) <u>小保方晴子氏</u> (元理化学研究所発生・再 生科学総合研究センター)	77	<u>高久史麿氏</u> (日本医学会会長)	70

6			<u>村木厚子氏</u> (厚生労働事務次官)	60
7			麻生太郎氏 (財務大臣)	50
8	麻生太郎氏 (財務大臣)	46	<u>小保方晴子氏</u> (元理化学研究所発生・再生科学総合研究センター)	48
9	<u>永井良三氏</u> (社保審医療部会長、自治医科大学学長)	35	<u>高橋政代氏</u> (神戸理化学研究所網膜再生医療研究チームリーダー)	35
10	<u>故・笹井芳樹氏</u> (元 CDB 副センター長)	29	<u>石破茂氏</u> (内閣府特命担当大臣<特区担当>)	30

(肩書は、2014年12月3日現在)

11位以降はこちら

Q.4では、「2014年の医療界のキーパーソン」を5人まで選択可能な方式で聞いた(回答者、勤務医501人、開業医501人)。

その結果、勤務医、開業医ともに、自民党総裁で首相の安倍晋三氏が2年連続で、1位となった(勤務医335人、開業医378人、計725人)。安倍首相は、自身の進める経済政策「アベノミクス」の中で、医療を成長戦略と位置付け、医師と患者の合意によって、保険診療と組み合わせ、保険外診療を受けられる「患者申出療養(仮称)」の創設を決定した。一方で、11月には、2015年10月に予定されていた消費税率10%の引き上げを見送って解散した。診療報酬は実質マイナス1.24%改定となるなど社会保障費への削減圧力が続き、東北における医学部新設の検討が進む中で、日本のトップとして安倍首相の影響を感じた会員もいたとみられる。

2位は、勤務医、開業医ともに、京都大学iPS細胞研究所長の山中伸弥氏(勤務医146人、開業医125人、計271人)が入った。9月には、理化学研究所の高橋政代氏が、世界初のiPS細胞の人での移植手術を実施して、注目が集まった。一方で、理研の旧発生・再生科学総合研究センター(CDB)のユニットリーダーだった小保方晴子氏が、STAP細胞の論文を発表したあと、捏造疑惑が持ち上がり、別の意味で再生医療に注目が集まる中、山中氏が、冷静な態度を取り続け、逆に存在感が増した可能性もある。高橋氏は、開業医で9位に入った。

開業医で山中氏と同数で2位となったのは、日本医師会の横倉義武会長。横倉氏は、診療報酬が実質マイナス改定になる中、地域医療提供体制の整備に向けた904億円規模の基

金を確保し、6月の日医役員選挙で2期目に突入した。政府との交渉の窓口になっていることから、「医療界の代表」として認知している会員も多いとみられる。勤務医でも、81人が選択し、4位に入った。

塩崎氏、麻生氏も注目浴びる

勤務医の3位、開業医の4位（勤務医、開業医ともに99人）は、9月に厚生労働大臣に就任した塩崎恭久氏。塩崎氏は、アンケートを実施した12月上旬の時点で、就任から3カ月程度だったが、エボラ出血熱の疑い症例が発生するたびに、厚労省の対応について説明に立った。また、塩崎氏は、安倍首相と近いとされていて、第3次安倍政権では閣僚は再任の方針のため、引き続き医療界への対応が注視される。閣僚では、歯に衣着せぬ発言を繰り返して注目を浴びた財務大臣の麻生太郎氏が、勤務医8位、開業医7位となった。前厚労大臣の田村憲久氏は、10位以内に入らなかった。

2008年以降の調査（2008年調査、2009年調査、2010年調査、2011年調査）では、例年、厚生労働大臣と日本医師会会長が上位を争っていたが、2012年以降は、山中氏や安倍氏などがトップとなる傾向が続いている（2012年調査、2013年調査）。

5位は、勤務医、開業医ともに日本医学会会長の高久史麿氏（勤務医77人、開業医70人）。高久氏は、現在検討が進んでいる新しい専門医制度の創設に深く関わったほか、臨床研究の法制化の検討にあたっては、研究件数の減少などを理由に、反対した。他にも、日本人間ドック学会の「血圧140mm/Hgは正常」とする考え方や、積極勧奨の中止が続いているHPVワクチンなどについて、意見を発信してきた。

勤務医で高久氏と並んで5位だったのは、厚生労働事務次官の村木厚子氏（開業医6位）と、小保方氏（開業医8位）。STAP細胞関連では、8月に他界した元・CDB副センター長の笹井芳樹氏が、勤務医で10位に入った。

その他の回答としては、エボラ出血熱の患者が国内で確認され、世界的な協力体制を呼び掛けた米国のバラク・オバマ大統領、2015年4月に設立される医療研究開発機構の初代理事長に決まった慶応大学医学部長の末松誠氏のほか、「財務・厚生官僚」という回答もあった。

2014年の医療界：1000人アンケート

「専門医制度の見直し」, 注目度トップ Vol.6

医療の成長戦略は関心低く、2015年度のトピックス

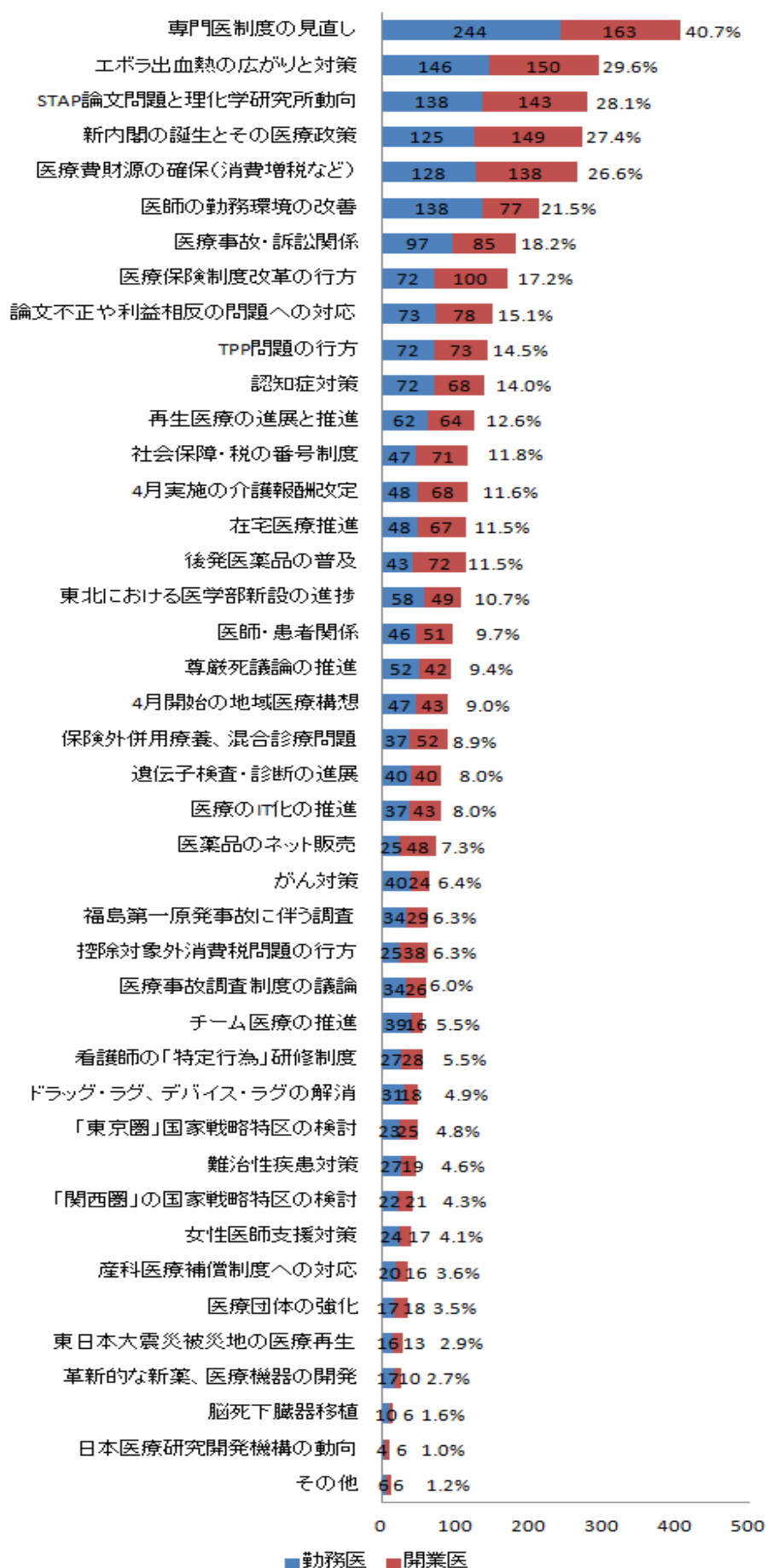
2014年12月26日(金) 池田宏之 (m3.com 編集部)

Q.6 2015年の注目トピックスは何ですか。

Q.6では、2015年の注目トピックスを、41の選択肢を挙げて、複数選択可能な方式で聞いた（回答者、勤務医501人、開業医501人）。

1位は、ニュースに関連する様々な話題を抑えて、「専門医制度の見直し」となった。特に勤務医からの注目度が高く、半数近い244人が回答した。「総合診療専門医」の創設も含めて制度設計が進む中、議論の行方が注目される。

Q6 2015年の注目トピックス(単位:人)



勤務医、開業医ともに2位は、「エボラ出血熱の広がりと対策」で約3割の会員が回答した。エボラ出血熱は2014年12月中旬までに、国内での患者は確認されていないものの、アフリカでは患者の増加が続いていて、WHO（世界保健機関）などが封じ込めに取り組み、日本からの専門家派遣も続いている。2014年ニュースのトップニュースとなったエボラ出血熱は、2015年以降も注目されそうだ（『（ノバ社やSTAP研究不正抑えた今年の1番のニュース Vol.5』を参照）。

勤務医の3位と開業医の4位は同じで、「STAP論文問題と理化学研究所の動向」となり、3割近くが回答。12月中旬には、存在を強調してきた筆頭著者の小保方晴子氏の検証実験を経ても、存在が確認できず、実験が打ち切られることが発表された。ただ、小保方氏らの処分は、来年以降も検討が続く。勤務医の同率3位には、「医師の勤務環境の改善」も入った。

開業医の3位は、「新内閣の誕生とその医療政策」。勤務医、開業医ともに5位は「医療費財源の確保」となった。第3次の安倍晋三政権が誕生し、医療を成長戦略として位置づける方針は続くとみられるが、消費増税が先送りされ、財源確保の問題が可能性指摘される中、2015年度介護報酬改定や2016年度診療報酬改定に対し、影響を与える可能性が高い。一方で、「日本医療研究開発機構の動向」は、わずか1.0%で最下位、「革新的な新薬、医療機器の開発」は2.7%で下から3番目。国家戦略特区への注目度も高いとは言えず、医師会員の成長戦略への関心は低い結果となった。

高齢化の進展に伴い、問題が多発し、社会的にも認知されつつある「認知症対策」も14%の会員が選んだ。患者の服薬忘れなどで、治療上、問題になる可能性があるほか、徘徊も問題となり、患者が踏切事故で死亡し、家族の賠償を求める訴訟も起きている。

その他には、「医療事故・訴訟関係」「医療保険制度改革の行方」などが、全体でトップ10にランクイン。2014年に医療関連で目立った動きはなかったが、「TPP問題の行方」も、関心が根強く、トップ10に入った。

「その他」の回答では、「危険ドラッグ対策」「新型インフルエンザのヒトの間の感染可能性」「医療類似行為問題」などの回答があった。

群馬大病院、手術継続の動機なお不明…診療科を再編へ

読売新聞 2014年12月21日(日)

肝臓の腹腔鏡手術を受け、患者8人が死亡した群馬大学病院（前橋市）は19日、前橋市内で記者会見し、調査の中間報告を発表した。その中で、「8人とも術前検査が不十分で、手術が過大な負担になり容体を悪化させた可能性がある」との認識が示されたが、執刀医が高難度手術を続けた動機など事態の背景にはいまだ不透明な部分が多い。野島美久よしひさ病院長は「大変残念に思い、責任を感じている」と苦渋の表情を浮かべた。

同病院の第二外科が2010年12月～14年6月に行った腹腔鏡を使う肝臓手術を受けた患者92人中58人が保険適用外の高難度手術だったとみられ、うち8人が手術後100日以内に死亡した。

しかし、手術後に死亡した患者について問題点を検証する死亡症例検討会は、8人が死亡しても開かれていなかった。

病院長はその事実を認め、「診療科長（第二外科教授）の責任は重い」と述べたが、なぜ3年半にわたり死亡症例の検討さえ行われなかったのか明確な理由は明かさず、「認識の問題だと思う」とするにとどまった。執刀医が高難度手術を繰り返した意図について問われると言葉に詰まり、返答に窮する場面もあった。

事態を受けた改善策として、第一外科、第二外科など番号制の診療体制を廃止し、診療科を臓器別に再編成することが打ち出された。群馬大病院では第一外科、第二外科ともに、内部に消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科といった診療グループを持ち、重複する。このことが、限られた人材の分散化や閉鎖性を生み、問題の一因となったとみられる。

ただ、同病院では06年、第一外科が手がけた生体肝移植で臓器提供者（ドナー）に重い障害が残る深刻な医療ミスが発覚している。何年も前にすでに見直しの機会がありながら、今まで本格的な再発防止策に着手できなかった理由もはっきりしていない。今月初旬、次期学長への就任が決まった野島病院長は、自らの責任問題について、「まずなすべきことは、何が問題だったか調査、検証すること。（遺族の思いに）しっかり応えなければと思う」と語った。

（時時刻刻）税制、「安倍印」ずらり 衆院選大勝で首相ペース、協議実質5日

朝日新聞 2014年12月31日(水)

30日に決まった与党税制改正大綱は、安倍晋三首相が主導権を握る「1強体制」を反映する内容となった。財政再建を重んじる自民党税調の幹部らは、消費増税先延ばしを掲げた衆院選の大勝で先手を打たれ、首相に追随する姿勢が目立った。法人税減税など成長重視を狙う「安倍印」の項目が並ぶ一方、選挙のため政府・与党の実質的協議は5日間にとどまり、配偶者控除の扱いなど先送りされたテーマも少なくない。

■財政再建派、影薄く

「官邸の方が強いと言う方が、マスコミには面白いからね。まあ、私が非力なせいかもしれないが」

30日。自民党の野田毅税調会長は、官邸側に押し切られたとの見方を半ば認めたとうえで、首相が仕掛けた衆院選の影響で与党協議の日程が限られたと強調した。「暮れの総選挙が終わって直ちに着手し、慌ただしい中での作業だった」

自民党税調はかつて、様々な業界や団体の利害関係が複雑に絡む税制論議を取り仕切る「聖域」とされた。郵政改革で党と渡り合った小泉純一郎元首相ですら、当時の党税調最高顧問で、税制のドンと呼ばれた山中貞則氏を訪ね、頼み込んだこともある。

しかし、今回の税制改正の議論は終始、安倍首相のペースで進んだ。

11月18日、首相は消費税率10%への引き上げ時期を1年半先送りする是非を問うとして、解散を表明。11年半ばから1カ月かける見通しだった税制論議は中断せざるをえなくなった。

与党の税調幹部は議論の時間を確保しようと、大綱のとりまとめを来年1月まで延ばす方針で一致。しかし首相は、年内に作業を終えるよう税調側に指示した。官邸側には、減速する景気をテコ入れするため、まず大綱づくりを急がせ、経済対策を織り込んだ今年度補正予算案や来年度予算案の早期編成につなげる狙いがあった。税調幹部の多くは難色を示したが、官邸側は露骨な圧力をかけていた。

衆院解散の直前、財政再建を重んじる野田氏は予定通りの消費税率引き上げを強く主張し、増税先送りを問う解散を「大義がない」と批判した。この動きに官邸側は、野田氏を党公認候補から外すよう、党に揺さぶりをかけた。野田氏が首相批判を封印すると、「それじゃ公認してやるか」（官邸首脳）と、一転して公認が決まった。

衆院選の大勝で、消費増税の先送りは有権者のお墨付きを得た形となった。選挙後は野田氏ら党税調幹部だけでなく、財政規律を重視する麻生太郎財務相ら財務省側も、官邸の方針に表向きは異論を唱えなくなった。

与党税調幹部には敗北感が募る。「1カ月以上かけるものを数日でやった。すべてが官邸主導だった……」

■法人減税幅も押し切る

今回の税制論議で官邸側が最もこだわったのが、法人実効税率の引き下げだ。

議論が本格的に始まった25日、首相は経団連との会合で「成長志向の法人税改革に道筋をつける」とアピールした。その3日前、法人税率の引き下げで首相と歩調を合わせる甘利明経済再生相は野田氏と会談した際、「首相の意向は分かっていますね」と念押しした。

安倍政権は6月、法人税率の引き下げ幅について「来年度から数年で20%台に下げる」との方針を閣議決定した。法人税の大幅減税をアベノミクスの「第3の矢」に掲げる成長戦略の柱と位置づけ、企業の競争力を高め、海外からの投資も呼び込む狙いからだ。

自民党税調側は方向性こそ認めたものの、引き下げによる税収減を懸念し、慎重な姿勢を崩していなかった。税制論議では官邸と党の激しい攻防も予想されたが、衆院選を機に首根っこを押さえられた税調側に抵抗する力はなかった。

法人実効税率は結局、首相の意向に沿って2015年度に2.51%、翌16年度にはさらに0.78%引き下げることが決まった。党税調幹部は「来年度は2.2%程度の下げ幅を想定していたのに、押し切られた」と語る。

税制改正大綱には、法人税以外でも「安倍印」が目立つ。結婚や子育て資金に関する贈与税の非課税枠の創設、株式売却益などで税優遇を受けられる少額投資非課税制度（NISA）の拡充など、成長や消費拡大を促そうとする項目や、企業の本社機能の地方移転促進やふるさと納税拡充など「地方創生」を意識した項目などが並んだ。

（小野甲太郎、池尻和生）

■選挙で議論停滞、先送り次々 車やビールの税改正／配偶者控除の見直し

消費再増税の先送り判断を理由とした突然の衆院選の影響は、税制改正の中身にも及んだ。

来年10月に消費税率を予定通り10%に再増税することが決まり、それを前提に、さまざまな税制を見直す――。税制を担当する財務省は当初、こんな来年度税制改正の姿を描いていた。ところが、再増税の1年半延期が安倍首相から表明され、例年なら税制改正の議論がヤマ場となる時期と衆院選が重なったことで、財務省の目算は外れた。

影響が直接出たのが、自動車とお酒にかかわる税制改正だ。車を買うときにかかる自動車取得税は、消費税率10%時に廃止する代わりに、毎年納める自動車税に燃費に応じた新たな課税の仕組みをつくることにしていたが、消費増税とともに先送りとなった。

ビール類の税率格差を縮めるため、ビールを減税し、「第3のビール」を増税するなどの酒税改正の具体案も決めるつもりだったが、ビール業界の利害が絡む酒税を見直すには議論や調整の時間が足りなくなり、これも先送りに。

政権の看板である「女性政策」をめぐる議論も進まなかった。安倍首相は6月の経済財政諮問会議で「女性の活躍促進に向け、税制、社会保障制度について諮問会議で議論していただきたい」と指示した。

たとえば妻の年収が103万円を超えると夫の税優遇が減る配偶者控除は、女性の就労を妨げる「103万円の壁」とも呼ばれる。首相は自ら議長を務める諮問会議で、配偶者控除の見直し議論をリードするかに見えたが、衆院選をはさんで諮問会議は「開店休業」となり、年末の与党税調でもほとんど議論は深まらなかった。

財政再建もかすんだ。

政府は、国・地方の政策経費の赤字を15年度に国内総生産（GDP）比で10年度から半減し、20年度には黒字にする目標を掲げている。ただでさえ20年度の目標達成が見えないのに、消費税を予定通り10%にすれば来年度に入ってくるはずだった1・5兆円の税収が見込めなくなった。それでも景気回復による税収増を期待して、消費再増税は先送りするものの、法人税は減税が増税を上回る「先行減税」とした。

大和総研の熊谷亮丸氏は、法人減税は評価しつつも「消費税や中小企業への課税など『耳の痛い話』は軒並み進まなかった」と指摘する。

急速に少子高齢化が進む日本は、負担の担い手が先細りし、次世代の負担である借金でしのいでいる。景気回復の大合唱のもと、「だれに負担してもらい、だれに再分配するのか」という税制の本来の議論は置き去りにされた。

（吉川啓一郎、野沢哲也）

「人食いバクテリア」患者263人…最悪に

読売新聞 2014年12月24日(水)

手足の壊死や意識障害を引き起こし、死に至る恐れもある「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」の今年の患者数が、12月中旬で263人となり、調査を始めた1999年以降最悪となった。

国立感染症研究所は、激しい喉の痛みや手足の腫れなど、感染が疑われる症状があれば、医療機関を速やかに受診するよう呼びかけている。

感染研によると、2010年までの患者数は多い年でも年100人前後だったが、12年以降は200人を超えている。今年は12月14日までで263人となり、最悪だった12年（242人）をすでに上回った。東京（41人）、神奈川（19人）、愛知（18人）が多い。

子どもの咽頭炎やとびひを起こすA群溶連菌などが原因。喉などの粘膜や皮膚の傷口から感染するとされるが、どういう場合に劇症化するのかなど詳しいことはわかっていない。

38度を超える発熱や傷口の激しい痛みや腫れなどの初期症状から急激に悪化し、数日以内にショック症状や多臓器不全などに陥ることがある。抗菌薬による早期治療が重要だが、去年は20人が亡くなった。手足や顔などの筋膜組織が壊死することもあり、「人食いバクテリア」とも呼ばれる。

衆院議員総選挙 2014 医師候補、自民公認 9 人が全員当選

民主半数落選、次世代全滅で、党勢影響か

2014 年 12 月 16 日 (火) 池田宏之 (m3.com 編集部)

12 月 14 日に投開票された衆議院議員総選挙で、医師資格を持つ候補者 22 人の当落が出そろい、14 人が当選した。単独で改選前の議席数をほぼ維持し、自公で占める議席数が前回の超える勝利となった自民党の公認候補は全員が当選。一方で、支持が伸びなかった民主党の公認候補は半分以上が落選し、議席数が 10 分の 1 近くなった次世代の党の候補は全滅した。改選前の当選回数が 1 回以下の候補者が 8 割近くを占める中、一部の候補を除いて、党勢の影響も大きい結果となった。

自民党公認候補者は 9 人全員が当選し、中には、今回の当選議員の中で唯一新人である大隈和英氏 (大阪 10 区、比例復活) も含まれる。民主党公認候補者は 7 人中 3 人が当選。民主党政権下で、厚労大臣政務官を務めたものの、前回選挙で議席を失った岡本充功氏が、議席に返り咲いた。

維新の党と次世代の候補は、いずれも前職だったが、維新の党は 3 人中 2 人が当選。次世代の党は、党全体で 19 議席から 2 議席に激減した中、医師資格を持った候補者 2 人はともに議席を失った。

ベテラン議員では、自民党公認で元環境大臣を務めた鴨下一郎氏は 8 回目の当選、民主党公認で出馬した阿部知子氏は 6 回目の当選をそれぞれ果たした。医師資格を持った前職が 2 人いた長野 1 区では、自民党の小松裕氏が議席を守った。安倍晋三首相の地盤である山口 4 区において、無所属で立候補した渡辺利絵氏は、安倍氏の 7 分の 1 以下の票しか獲得できずに敗れた。

第 47 回衆院議員総選挙における主な医師資格保持候補者の当落 (m3.com 調べ、敬称略)

氏名	所属政党	選挙区	出身大学	当落 (当選回数)
勝沼栄明	自民党	宮城 5 区	北海道大学	比例 (2)
岡部光規	民主党	福島 2 区	山形大学	×
柏倉祐司	民主党	栃木 1 区	岡山大学	×
三ツ林裕巳	自民党	埼玉 14 区	日本大学	○ (2)
阿部知子	民主党	神奈川 12 区	東京大学	比例 (6)
中島克仁	民主党	山梨 1 区	帝京大学	○ (2)
鴨下一郎	自民党	東京 13 区	日本大学	○ (8)
鹿野晃	次世代の党	東京 22 区	藤田保健衛生大学	×
赤枝恒雄	自民党	比例東京	東京医科大学	○ (2)
宮沢隆仁	次世代の党	長野 1 区	順天堂大学	×
小松裕	自民党	長野 1 区	信州大学	比例 (2)

吉田統彦	民主党	愛知1区	名古屋大学	×
岡本充功	民主党	愛知9区	名古屋大学	比例 (4)
今枝宗一郎	自民党	愛知14区	名古屋大学	○ (2)
清水鴻一郎	維新の会	京都3区	大阪医科大学	×
大隈和英	自民党	大阪10区	聖マリアンナ医科大学	比例 (1)
伊東信久	維新の会	大阪11区	神戸大学	比例 (2)
渡辺利絵	無所属	山口4区	島根医科大学	×
新谷正義	自民党	比例中国	帝京大学	○ (2)
仁木博文	民主党	徳島1区	徳島大学	×
河野正美	維新の会	福岡4区	愛知医科大学	比例 (2)
富岡勉	自民党	長崎1区	長崎大学	○ (3)

厚生労働省が平成26年度診療報酬改定を発表 6年ぶりの実質マイナス改定

2013年12月20日 PM07:30

診療報酬本体 改訂率は0.73%

厚生労働省は12月20日、来年4月に行われる平成26年度診療報酬改定の内容を発表した。改定内容は以下の通り。カッコ内は消費税率の引き上げに伴う医療機関等の課税仕入れコスト増への対応分としている。

診療報酬本体は、改定率+0.73% (+0.63%) としている。各科改定率はそれぞれ、医科+0.82% (+0.71%)、歯科+0.99% (+0.87%)、調剤+0.22% (+0.18%) となった。

平成20年度以来の実質マイナス改定

薬価改定率は▲0.63% (+0.73%)。内訳として薬価改定が▲0.58% (+0.64%)、材料価格改定が▲0.05% (+0.09%) となっている。後発医薬品の価格設定の見直しなどの措置は別途、講ずるといふ。

これにより、来年4月に行われる消費増税に伴うコスト増対応分を除いた実質改定率では、1%半ばのマイナスとなった。マイナス改定は平成20年の改定以来、6年ぶりのことである。(QLife Pro 編集部)

▼外部リンク

厚生労働省 報道発表資料 <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/>

38歳女性医師が日医連推薦候補、2016年参院選

初の女性候補、元衆院議員自見氏の次女

2014年12月25日(木) 池田宏之 (m3.com 編集部)

2016年7月に予定されている参議院議員選挙に向けて、日本医師連盟は、12月24日、比例候補として、医師の自見英子氏を推薦すると発表した。自見氏は、国民新党代表を務

めた元衆議院議員の自見庄三郎氏の次女。小児科の勤務医で38歳。日医連としては初の女性推薦候補となる。日医連は、自民党に対して公認申請することも決めている。

推薦候補は、今年9月に全国に公募をかけた結果、応募者は自見氏のみで、日医連の執行委員会において全会一致で承認した。自見氏は、長崎県佐世保市生まれで、東海大学医学部を卒業後、都内の病院勤務や父・庄三郎氏の議員秘書を務めた。現在は都内の病院の非常勤務医で、東京都医師会会員。会見で自見氏は、小児科の勤務において、「子育ての苦労や片親などの社会問題も感じた」と話し、医師だけでなく、広く社会のために働き、医師と社会をつないでいく決意を語った。

公認申請先として、自民党を選んだ理由について、日医連の横倉義武委員長は、12月の衆院選で各地の医師連盟から上がっ

てきた候補の95%が自民党候補であった点を指摘し、「(自民の公認を得るのは)強い会員の声」と述べた。自民党政権において、医療も含めた規制改革が進んでいる点については、「国民の健康を守る(ために変えてはいけない)規制と、変える規制がある。変えられる規制はしっかりと改革してほしい」と述べた上で、社会保障における効率化も努力が必要との認識を示した。

前回の参議院議員選挙においては、元日医常任理事の羽生田俊氏の推薦は半年前に決まった。今回の自見氏の推薦が、1年半近く前に決まった理由について、横倉委員長は、「(羽生田氏の時は)時間が短く、全国の先生に十分に会えなかった」と反省を述べ、都道府県医師会や群市区医師会にも広く浸透する目的で、早めに決定した旨を述べた。



日本医師連盟の推薦候補として2016年7月に予定されている参議院議員選挙に出馬を明かした医師の自見英子氏。

血液で13種の癌診断、79億円のプロジェクト始動

池田宏之 (m3.com 編集部) 2014年8月19日(火)

血液中に含まれるマイクロRNAを指標として、13種類の癌や認知症の早期発見を目指すプロジェクトが本年度から国内で始まった。主体は、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、国立がん研究センター、東レなど計18団体で、2018年度までの5年間に、診断機器や検査システムの開発を目指す(資料は、[国がんのホームページ](#)に掲載)。現在の腫瘍マーカーの感度、特異度の問題を解決する検査法につながる可能性がある。予算は、約79億円。

マイクロRNAは、血液などの体液に分泌され、タンパク質のコーディングをしない18塩基から25塩基ほどの小さなRNA。タンパク質複合体や「エクソソーム」と呼ばれる小胞に包まれているため、DNAやmRNAと違い、体液中に安定している。現在までに見つかっているのは、約2500種。近年、癌などの病態の変化に伴い、マイクロRNAの種類や量変動していることが明らかになっている。

国がんなどは、現在までに蓄積された血液サンプルなどを用いて、13種類の癌におけるマイクロRNAの種類や量の傾向を調べる方針で、傾向が判明すれば、新しい癌診断方法につながる可能性がある。神経細胞が変質する認知症についても、国立長寿医療研究センターの協力を得て、調査を進める。

癌については5000症例ずつ、認知症については4000症例ほどを調べる予定。NEDOによると、「現在までに出ている（マイクロRNAと疾患の関連を示す）報告は、基礎研究レベルで、検証症例数も数十から100程度で不十分」としていて、大量のデータを調べて、実用化につながるマイクロRNAの傾向を発見して、診断機器や検査システムを開発したい考え。結果については、データベース化し、多くの研究者が利用できるようにする方針。

現在、広く使われている腫瘍マーカーは、感度、特異度が必ずしも高くはない上、早期癌の段階では腫瘍マーカーが高値にならなかつたり、良性疾患や加齢でも高値を示すなどの問題がある。マイクロRNAを用いた検査法の場合、採血のみだけで、感度、特異度の高い診断につながって、追加検査などの患者の負担も、大幅に減る可能性がある。NEDOは、「早期診断だけでなく、治療効果予測や新規薬剤開発への応用も期待できる」としている。

診断を目指す13種は、胃、食道、肺、肝臓、胆道、膵臓、大腸、卵巣、前立腺、膀胱、乳の部位の癌と、肉腫、神経膠種。国がんによると、「日本人に多い症例と、国がんが力を入れる希少癌から対象を選んだ」としている。

武田薬品 「アクトス」製造物責任訴訟で陪審評決に則った判決下る

2014年09月08日 PM07:00

再審理、賠償金減額の申し立てに対する決定は未だ下されず

武田薬品工業株式会社は9月4日、同社および米子会社である武田ファーマシューティカルズUSA Inc.（以下、TPUSA社）は、米国時間9月3日にルイジアナ州西部地区連邦地方裁判所で行われた2型糖尿病治療剤「アクトス(R)」に起因する膀胱がんを主張する製造物責任訴訟において、現地時間4月7日に下された60億ドルの支払いを命じる陪審評決に則った判決が下されたと発表した。同社ならびにEli Lilly and Companyが申し立てている再審理または懲罰的損害賠償金を大幅に減額すべき旨の申し立てに対しては、裁判所はまだ決定を下していないという。

TPUSA社のシニア・バイス・プレジデントで法務部長のKenneth D. Greisman氏は、この判決についてプレスリリースで、

「このたびの判決は大変遺憾であり、到底承服いたしかねます。当社が現在申し立てている再審理または懲罰的損害賠償額の大幅な減額に関する裁判所のご判断を引き続きお待ちします。この申立ての採否については、今後数週間以内に結論が出されるものと見込んでおります。当社は患者さんの安全を第一に考えており、アクトスに関して責任をもって対応してきたと確信しております。当社は引き続き、上級裁判所への控訴を含め、可能なあらゆる法的手段を以って争ってまいります」（武田薬品工業株式会社 ニュースリリースより引用）

と述べている。

同剤に関しては州裁判所において、これ以前に5件の評決または判決がある。それらすべては同社側の主張が認められており、今回の訴訟は連邦裁判所による連邦広域係属訴訟において、公判に至った唯一の事件であるという。

10年間の疫学研究では、膀胱がん発生リスクの有意な増加は認められず

武田薬品工業はこれに先立ち、現地時間8月28日付で、米国食品医薬品局（FDA）、欧州医薬品庁（EMA）および日本の厚生労働省（MHLW）／医薬品医療機器総合機構（PMDA）など、各国の規制当局に対し、アクトスなどピオグリタゾン含有製剤に関して、市販後に課された10年間の疫学研究の完了に伴い、そのデータを提出したと発表している。

この研究はペンシルベニア大学とKaiser Permanente医療保険グループの研究部門により実施され、ピオグリタゾンを投与された患者において膀胱がんの発生リスクが増加するかを検討するために計画されたもの。研究の結果、過去にピオグリタゾン投与を受けたことがある患者において、膀胱がん発生リスクの統計学的に有意な増加は認められないことが報告されている。

2011年3月にDiabetes Care誌に掲載された5年間の中間解析においては、ピオグリタゾンを2年以上使用した患者では、有意なリスク増加が認められたとしているが、10年間の最終解析では、ピオグリタゾンの長期投与に伴う膀胱がん発生リスクの統計学的に有意な増加は認められていないという。なお、このデータは、必要に応じてさらに多くの国々の規制当局に提出され、2014年中に研究チームによって最終結果が論文投稿される予定としている。（[QLifePrp 編集部](#)）

相次ぐアセトアミノフェンに対する注意喚起～何が起きているのか

2014年01月31日 AM10:30

CKD診療ガイドラインでも「NSAIDs 同様最小限の使用にとどめるべき」と

アセトアミノフェンは古典的な解熱鎮痛薬だが、いまだ明確な作用機序は解明されていない。ただ、現時点では中枢神経を介した解熱・鎮痛効果が有力とされ、NSAIDsのような理論的に明確な腎機能低下作用はないために臨床現場では頻繁に用いられている。ところが、2013年あたりからアセトアミノフェンの使用に対し、これまでの方針を覆し、注意喚起するケースが相次いでいる。

日本腎臓病学会が慢性腎臓病（CKD）に関して昨年8月に発表した「エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2013」。4年ぶりとなる今回の改訂では、臨床医が現場で抱く疑問の視点を踏まえて、約130の「クリニカルクエスチョン（CQ）」単位で学会としステートメントを提示したことが大きな変更点。各ステートメントはA（強い科学的根拠があり、行うよう強く勧められる）、B（科学的根拠があり、行うよう勧められる）C1（科学的根拠はないあるいは弱い、行うよう勧められる）、C2（科学的根拠はなくあるいは弱く、行わないよう勧められる）、D（無効性あるいは害を示す科学的根拠があり、行わないよう勧められる）の推奨度を付記した。

もっともCKD自体が新たな概念で不明な点も多く、推奨度がないCQもあり、臨床現場で悩みどころになる部分もある。その1つがCKD患者への非ステロイド系解熱消炎鎮痛薬（NSAIDs）投与によるCKD進展への影響だ。従来からNSAIDsは炎症に関与するプロスタグランジンの生合成抑制効果が作用主体だが、この結果腎血管の拡張作用をも低下させ、

腎機能を低下させる危険性があると認識されている。このため NSAIDs 投与が CKD 患者の病態を進展させる危険がある。今回のガイドラインではこの点については未だ明らかではなく、使用は最小限にとどめるべきと記述し、とりわけ推奨度は示していない。

一方でこうした危険を背景に CKD 患者での解熱鎮痛薬としてアセトアミノフェンが選択されることは少なくない。とはいえ、アセトアミノフェンが腎機能低下に関係しないという理論はまだ早計だろう。

昨年、ボストンで開催された米国公衆衛生学会の年次集会ではアメリカ・パーカー大学の Harrison Ndetan 氏らがアセトアミノフェンと少量から中等量のアルコールを併用すると腎疾患リスクが 123% 増加するという新たな報告を行っている。

同報告では 03~04 年のアメリカ健康栄養調査 (NHANES) に参加した 1 万人強のデータから、うち 2.6% がアセトアミノフェンと少量から中等量のアルコールを併用しており、その約半数の 1.2% で腎機能障害があったことがわかった。正確な因果関係は不明だが、Ndetan 氏は、「アルコールがアセトアミノフェンの処理を制御する遺伝子を妨害する可能性がある」との見方を示している。

1 月には米 FDA から 325mg 超の製品の処方・中止を求める勧告が

一方、アセトアミノフェンについては別の視点からの危険性も指摘されている。今年 1 月 14 日に米食品医薬品局 (FDA) は、325mg 超のアセトアミノフェン含有製品の処方、調合の中止を求める勧告を医療関係者に向けて発表した。

勧告ではこのような製品は、肝障害を引き起こすリスクがあり、それを超える治療メリットを示すデータがないためとしている。アセトアミノフェンは OTC などにも広く含有されているため、処方医が気づかない間にこの用量を超えてしまう懸念もある。

今回の CKD 診療ガイドライン 2013 の NSAIDs に関する CQ では、アセトアミノフェン使用についても一定した見解は得られておらず、腎機能に悪影響を及ぼす可能性があるため、NSAIDs 同様最小限の使用にとどめるべきと記述している。

アセトアミノフェンの優れた鎮痛効果とそれに対する医療者の評価は大きく変わることは無いと思われるが、「アセトアミノフェン=NSAIDs より安全」という評判は、一度じっくり立ち止まって考えてみる必要があるようだ。(QLife 編集部)

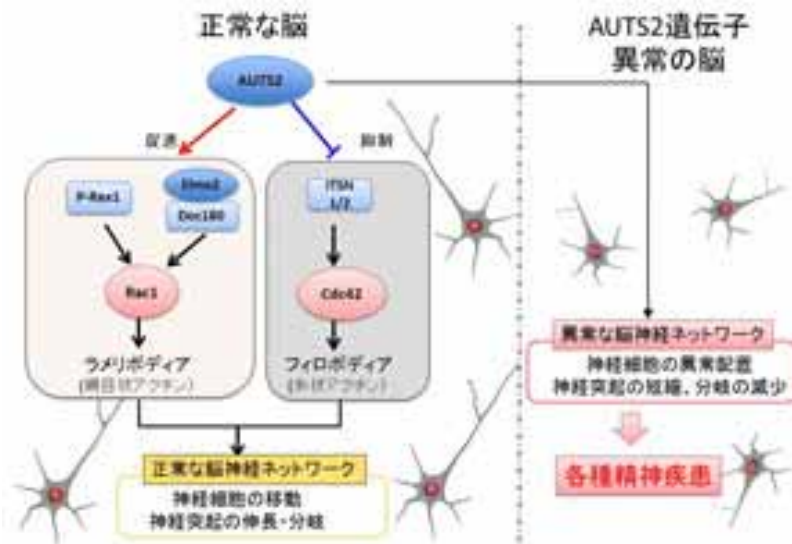
自閉症、統合失調症などさまざまな精神疾患に関わる遺伝子の働きが明らかに—NCNP QLifePro

自閉症、統合失調症などさまざまな精神疾患に関わる遺伝子の働きが明らかに—NCNP

2014 年 12 月 25 日 PM04:00

AUTS2 の異常によって引き起こされる精神疾患の病理に迫る

国立精神・神経医療研究センター (NCNP) は 12 月 19 日、神経研究所 病態生化学研究部の堀啓室長、星野幹雄部長らの研究グループが、自閉症スペクトラム障害や統合失調症など、様々な精神疾患に広く関わる AUTS2 (Autism Susceptibility Candidate 2) 遺伝子の働きを、世界で初めて明らかにしたと発表した。なお、この研究成果は、米生命科学雑誌「Cell Reports」に 12 月 19 日付で掲載されている。



画像はプレスリリースより

今回、研究対象となった AUTS2 遺伝子は、ヒト第 7 染色体上の 120 万塩基にもおよぶ広い領域に存在する遺伝子で、自閉症スペクトラム障害、統合失調症、ADHD、薬物依存などのさまざまな精神疾患に広く関連することがわかっていた。これまでこの遺伝子がコードする AUTS2 蛋白質は神経細胞の細胞核に存在し、何らかの作用をしているのではないかと考えられていた。しかし、その働きについてはほとんど分かっておらず、この遺伝子の異常がどのように各種の精神疾患を引き起こすのかは不明だった。

さまざまな精神疾患において広く共通の病理が存在することを示唆

今回の研究では、これまでの報告に基づく「この分子は神経細胞の核内で働くであろう」という先入観を排除し、厳密な細胞分画実験と免疫染色実験を実施。AUTS2 蛋白質が神経細胞の核だけでなく、細胞質領域、特に神経突起部分にも多く存在することを見いだしたという。

また、この神経細胞の細胞質において、Rac1 や Cdc42 という分子の活性を調節し、神経細胞内のアクチン構造を変化させていることを明らかにした。さらに、その働きによって、AUTS2 が神経細胞内のアクチン構造を自在に操り、神経細胞の動きや形態変化を制御することによって、脳神経系の発達に関与していることが示されたとしている。

これまで、精神疾患に関連する遺伝子は多数発見されてきたが、それぞれ個別の疾患に関わるものだった。幅広い精神疾患に関与する AUTS2 遺伝子の働きが明らかになったのは世界で初めてであり、今後、さまざまな精神疾患に共通する根本的な病理の解明や、新たな治療法の開発につながることを期待できると研究グループは述べている。（横山香織）

▼外部リンク

- ・ [国立精神・神経医療研究センター プレスリリース](#)

介護ベッド死亡事故で注意喚起頭部を手すりの隙間に挟んだ状態で発見

2014 年 8 月 26 日 [m3.com](#) 編集部

消費者庁はこのほど、介護ベッドで死亡事故が発生したとして注意喚起を發した。80 歳代の男性が、頭部を手すりの隙間に挟まれた状態で発見されたという。同庁では、製品に関する重大事故報告の公表制度が始まってからの 7 年で 35 件の死亡事故が発生してい

ることから、介護ベッドの利用者が死亡事故に巻き込まれないよう予防策の徹底を呼び掛けている。

死亡事故は、80歳代の介護ベッド利用者がベッドと手すりの間に頭部を挟まれた状態で発見された。消費生活用製品安全法の重大製品事故報告・公表制度が施行された2007年からは、のべ67件の重大事故が発生し、このうち35件が死亡事故となっている。主に手すり（サイドレール）と頭側のついたて（ヘッドボード）の隙間に首が入ったり、手すり同士との隙間に首が挟まったりしたケースが目立つという。消費者庁は関係者に対し、手すりが規格を満たす新JIS製品かどうか確認し、隙間はクッション材や毛布などでふさぐよう求めている。

【関連リンク】

[消費生活用製品の重大製品事故：介護ベッド用手すりについての注意喚起、リコール製品で火災（電気冷蔵庫（無償部品交換））等](#)

小児の医薬品誤飲で注意喚起厚生労働省が医療機関と薬局に周知徹底依頼

2014年12月25日 [医薬品医療機器総合機構](#)

医薬品医療機器総合機構（PMDA）は12月25日、小児による医薬品の誤飲事故に関する厚生労働省の医療機関、薬局向けの注意喚起を発出した。これに先立ち12月19日に開かれた消費者安全調査委員会では、保護者自身も小児の医薬品誤飲を認識していないケースが少なくないことから厚労大臣宛てに誤飲防止に向けた意見書を提出していた。注意喚起では、保管場所の選定など事故防止策の徹底を呼び掛けている。

消費者安全調査委員会が実施したインターネットでのアンケートによると、調査対象の保護者5830人のうち、小児の医薬品誤飲事故か誤飲未遂を経験したのは501人（8.6%）に上った。未遂を含む事故が起きた場所は自宅の居間が66.7%で、医薬品をテーブルや台の上に置いていたケースが半数以上であった。小児の年齢は、1-2歳が63.5%と半数以上を占めた。このため同委員会は、医薬品を小児の手の届かない場所に置いたり、医薬品をしまう引き出しや冷蔵庫の扉を施錠したりするなどの対策を報告書で例示し、厚労大臣に周知を求める意見書を提出していた。

【関連リンク】

[子どもによる医薬品誤飲事故の防止対策の徹底について（医療機関及び薬局への注意喚起及び周知徹底依頼）](#)

小児のボタン電池誤飲で注意喚起マグネットカテーテルで摘出、入院事例も

2014年11月27日 [国民生活センター](#)

国民生活センターはこのほど、小児によるボタン電池の誤飲に関する注意喚起を行った。キッチンタイマーや電化製品のリモコンなどに使われるボタン電池は小さいために飲み込みやすく、放電による化学やけどで消化管に穴が開いたり、潰瘍ができたりする恐れもあるという。同センターでは、誤飲した場合はすぐに医師の診断を受けるよう求めている。

同センターに寄せられた報告によると、1歳の男児がタイマーの蓋を取って遊んでいたところ、ボタン電池が無くなっていることに母親が気付く、医療機関を受診した。腹部レントゲンで胃にボタン電池があることが分かり、マグネットカテーテルで摘出した。別の

事例では、1歳の女兒が懐中電灯のボタン電池を2個誤飲した疑いがあったため、医療機関を受診。胃洗浄で取り出したが1日入院したという。同センターでは、ボタン電池が生活必需品の様々な製品に使われているとして、乳幼児の手の届かないところへ保管するよう呼び掛けている。

【関連リンク】

[ボタン電池の誤飲に注意](#)

餅による窒息事故に注意喚起国民生活センター、年末年始の増加に備え

2014年12月25日 [国民生活センター](#)

国民生活センターは12月22日、餅による窒息事故の注意喚起を發した。年末年始は特に高齢者で食べ物による窒息事故の死亡者数が増加する時期であることから、食べやすい大きさに分割するなど餅を喉に詰まらせない食べ方の実践を呼び掛けている。

正月は毎年、餅などの食べ物を喉に詰まらせる事故が後を絶たない。消費者庁がまとめた「不慮の窒息」による月別死亡者数によると、1月が最多となっており、全国で毎年約1300人が亡くなっている。窒息事故のうち、食べ物による事故で65歳以上が占める割合は40%を超えているという。東京都消防庁の救急搬送データでは、2009-13年に餅を喉に詰まらせて搬送された人は年間平均117人で、約9割が65歳以上となっている。

このため国民生活センターは、餅を食べる際に注意を払うよう求めている。具体例として、雑煮を食べている最中に60歳代男性が餅を喉に詰まらせて家族が病院搬送したり、70歳代の男性が台所で餅を喉に詰まらせ、居間まで自力で助け求めて家族が救急要請したりしたケースを挙げている。同センターでは、高齢者は咀嚼力が低下していることから餅を小さく切って食べやすいサイズにすることや、ゆっくり噛んで唾液とよく混ぜ合わせて食べることの重要性などを説明している。

【関連リンク】

[年末年始 餅での窒息事故に気をつけて](#)

女性のやせ傾向がより顕著に、高齢者は6人に1人が低栄養

提供元：HealthDay News 2014/12/29

男性は3人に1人が肥満だが、女性は8人に1人がやせの範囲にあてはまる—2013年度国民健康・栄養調査結果からこんな状況が示された。

肥満者の割合は男性28.6%、女性20.3%。男性では2011年から変化がなかったが、女性では肥満が過去10年間減少する一方、やせ（12.3%）の増加傾向が一段と顕著になった。65歳以上では低栄養者（BMI20以下）の割合が16.8%と6人に1人に及び、85歳以上では29.6%と高率になっていた。

一方、「糖尿病が強く疑われる者」は男性16.2%、女性9.2%で、2006年から変化はなかった。収縮期血圧が140mmHg以上の割合は男性38.3%、女性29.6%。血中総コレステロールが240mg/dL以上の割合は男性10.3%、女性16.8%となっていた。

飲酒量多いと医療費高い～日本男性の大規模研究

提供元：ケアネット 2014/12/29

日本の医療保険制度下での大規模な疫学研究により、日々の飲酒量が多いと医療費および入院の可能性が増加することがわかった。金沢医科大学公衆衛生学の中村 幸志氏らが、Alcohol and Alcoholism 誌オンライン版 2014 年 12 月 17 日号で報告した。

この研究の参加者は、医療保険の被保険者で、毎日飲酒する習慣を持つ 40~69 歳の 9 万 4,307 人の男性。1 日当たりの飲酒量について 2 杯未満、2~3.9 杯、4~5.9 杯、6 杯以上の 4 群に分け、開始から 1 年間に高額医療費（医療費分布の 90 パーセント以上と定義）が生じる可能性とその年に入院する可能性を比較した。

主な結果は以下のとおり。

- ・1 年間の医療費が上位 10%までの参加者において、1 人当たり少なくとも 2,152 ユーロ/年の医療費が生じた。
- ・医療費上位 10%で、本コホートの総医療費の 61.1%を占めていた。
- ・医療費上位 10%の参加者において、1 日 2 杯（アルコール 23g）未満の群と比べたオッズ比（95%信頼区間）は、年齢、BMI、喫煙、運動習慣での調整後、2~3.9 杯/日の群で 1.08（1.02~1.15）、4~5.9 杯/日の群で 1.11（1.05~1.19）、6 杯/日の群で 1.31（1.18~1.45）であった。
- ・入院における調整オッズ比は、それぞれ、1.11（1.04~1.19）、1.14（1.06~1.24）、1.39（1.24~1.56）であった。

（ケアネット 金沢浩子）

原著論文; [Nakamura K, et al. Alcohol Alcohol. 2014 Dec 17. \[Epub ahead of print\]](#)

こまめなメール確認をやめるとストレスが軽減

提供元：HealthDay News 2014/12/29

ストレス軽減に役立つ方法を探しているなら、電子メールをチェックする頻度を減らすようにするといい—こんな研究結果が、カナダ、ブリティッシュ・コロンビア大学心理学部の Kostadin Kushlev らにより示唆された。研究論文は、「Computers in Human Behavior」に掲載された。

今回の研究の被験者は、学生、金融アナリスト、医療専門家など成人 124 人。被験者を 2 群に分け、1 週目には 1 群は 1 日 3 回のみ電子メールをチェックし、もう 1 群は好きなだけチェックした。2 週目には逆にした。

その結果、電子メールをチェックする頻度が少ないと、ストレスも少ないことが示された。ただし、電子メールの習慣を変えることは多くの被験者にとって難しいことが判明した。ほとんどの被験者が、1 日 2~3 回しかチェックしないことは非常に難しいと感じたという。

Kushlev 氏は、「電子メールをチェックするという誘惑には抵抗しがたいが、この誘惑に負けないようにすることでストレスは軽減する。企業やその他の組織では、メールを常にチェックし返信するのではなく、まとめて行うよう提案することで従業員のストレス軽減に役立つ可能性がある」と述べている。

4 分で高精度の HbA1c 測定器発売ニプロ、院内検査室の自動分析装置と同等

2014 年 12 月 26 日 [化学工業日報](#)

ニプロはこのほど、HbA1c測定機器「Q u o - L a b (クオラボ)」を発売した。検体量は4マイクロリットル、測定時間は採血操作などの前処理を含んで約4分で院内検査室の自動分析装置と同等の精度を実現する。発売後4カ月間で2,000万円を計画している。

測定過程で検体漏れが生じない感染防止仕様の試薬カートリッジで、医療従事者の安全を確保する。大きさは、20.5×13.5×9.5センチメートル、重さは約0.7キログラムと軽量で、省スペース設計を実現した。価格は、クオラボメーター（本体とバーコードスキャナー）が24万円（税別）、プリンターが4万7,000円（同）。

医療トーク番組、5割エビデンスなし

2014年12月26日 BMJ

文献：Korownyk C, et al. Televised medical talk shows—what they recommend and the evidence to support their recommendations: a prospective observational study. BMJ. 2014 Dec 17;349:g7346.

2013年前半放送の医療番組（The Dr Oz Show と The Doctors）各40回分を対象に、その推奨内容を前向き観察研究で評価。160の推奨中、54%は1つの症例研究以上のエビデンスにより裏付けられた。番組別では、エビデンスの裏付けあり各46%、63%、矛盾あり15%、14%、エビデンスなし39%、24%だった。

原文（BMJ）を読む

抗がん剤投与後に5人死亡 製薬会社「慎重投与を」

共同通信社 2014年12月11日（木）

9月に販売が始まった前立腺がんの抗がん剤「ジェブタナ」を投与された患者のうち5人が死亡していたことが10日、製薬会社への取材で分かった。販売する「サノフィ」（東京都新宿区）は、投与との因果関係を否定できないとしており、慎重に投与するよう医療機関に注意を呼び掛けている。

サノフィによると、ジェブタナは販売開始の9月4日から12月3日までの3カ月間に約200人の患者に投与され、40人に白血球の一種「好中球」が減少する症状が確認された。うち60代の3人、70代の2人が感染症などが原因で死亡した。

添付文書には、海外では好中球が減少し患者が死亡するケースが報告されているとして、感染症の症状のある患者らには投与しないよう記載されている。

サノフィは「投与した患者には頻繁に血液検査を実施し、発熱があった場合には適切な抗菌薬の投与を開始してほしい」としている。

厚生労働省は「薬の添付文書の周知で対応できる内容と考えているが、今後の推移を見たい」としている。

医療事故で男性死亡 既往歴ある抗生剤投与

共同通信社 2014年12月26日（金）

高知県立幡多けんみん病院（宿毛市）で今月、アレルギー反応の既往歴がある抗生物質製剤を投与した高齢の男性入院患者が死亡する事故があったことが26日、病院への取材で分かった。

病院によると、医師の指示で看護師が抗生物質製剤を点滴により投与したところ、アレルギー反応であるアナフィラキシーショックになり、約2時間後に死亡が確認された。男性には同種の抗生物質製剤によるショックの既往歴があり、カルテにも記入していたが、医師らは確認せず投与したという。

病院は「深くおわび申し上げ、再発防止策を徹底する」とのコメントを出した。

筋弛緩剤を誤って投与、患者死亡 大阪府立の医療機関

朝日新聞 2015年1月1日(木)

大阪府立急性期・総合医療センター（大阪市住吉区）は31日、入院中の60代の男性患者に誤って筋弛緩（しかん）剤の点滴を投与し、男性が死亡したと発表した。医師から抗生物質の処方指示された薬剤師が薬剤を取り違え、点滴前に確認した看護師2人も気づけなかったという。センターは遺族に謝罪し、府警に届けたという。

センターによると、男性患者は抗がん剤治療のために約2週間入院。発熱の症状が出たため29日、主治医が抗生物質「マキシピーム」の点滴を指示したところ、女性薬剤師が薬剤の入った棚から誤って筋弛緩剤「マスキュレート」を取り出し病棟に送った。

二つの薬剤は別の棚で保管されており、薬剤師は男性への点滴が始まった約2時間後、別の患者用に「マキシピーム」を取りだそうとして取り違えに気づいたが、男性はすでに心肺停止状態だったという。

薬剤師は院内の調査に対し、「抗生物質だと思って筋弛緩剤を出してしまった」、看護師らは「その患者の薬だと思った」と説明しているという。

吉岡敏治院長は31日会見し、「あつてはならないことで患者やご家族に心からおわび申し上げます」と話した。

2型糖尿病のHbA1c 6.4%群、全死亡率上昇、英国調査

2010年2月1日 ソース：Lancet

文献：Currie CJ et al. Survival as a function of HbA1c in people with type 2 diabetes: a retrospective cohort study. Lancet. Early Online Publication, 27 January 2010
英国のデータベースを用い、2型糖尿病患者を対象にHbA1c値の生存への影響を後ろ向きコホート研究で調査。全死亡率が最も低かったHbA1c 7.5%群に対して、6.4%群1.52、10.5%群1.79と、HbA1c低値・高値ともに全死亡ハザード比の上昇が見られた。著者らは糖尿病ガイドライン見直しが必要かもしれないと指摘している。

原文（Lancet）を読む

空腹時血糖とHbA1cの併用、糖尿病発症リスクを高率で予測、日本調査

2011年6月29日 ソース：Lancet

文献：Heianza Y et al. HbA1c 5.7–6.4% and impaired fasting plasma glucose for diagnosis of prediabetes and risk of progression to diabetes in Japan (TOPICS 3): a longitudinal cohort study. *The Lancet*, Early Online Publication, 25 June 2011.

非糖尿病の男女 6241 人を対象に、前糖尿病状態の診断基準（空腹時血糖 5.6–6.9mmol/L または糖化ヘモグロビン（HbA1c）5.7–6.4% または併用）と糖尿病発症の関係を縦断的コホート研究で調査。両正常値群と比較した糖尿病発症ハザード比は、空腹時血糖診断群 6.16、HbA1c 診断群 6.00、併用診断群 31.9 だった。

原文（Lancet）を読む

薬物療法で血糖不良の 2 型糖尿病、集中的食事療法で HbA1c 改善

2010 年 7 月 23 日 ソース：BMJ

文献：Coppell KJ et al. Nutritional intervention in patients with type 2 diabetes who are hyperglycaemic despite optimised drug treatment—Lifestyle Over and Above Drugs in Diabetes (LOADD) study: randomised controlled trial. *BMJ*. 2010;341:c3337
最適化した薬物療法を実施しても HbA1c 値が 7% を超える 70 歳未満の 2 型糖尿病患者 93 名を対象に、集中的な食事療法の有効性を無作為化試験にて検討。介入から 6 カ月時点で、HbA1c 値、体重、BMI、胴囲について、食事療法群で対照群と比較し統計学的に有意な改善を認めた。

原文（BMJ）を読む

重症エボラ、集中的支持療法で回復

2014 年 11 月 4 日 ソース：NEJM

文献：Kreuels B, et al. A Case of Severe Ebola Virus Infection Complicated by Gram-Negative Septicemia. *N Engl J Med*. 2014 Oct 22. [Epub ahead of print]

シエラレオネで発生したエボラ出血熱（EVD）症例 1 例について報告。敗血症、呼吸不全、脳症などかなり多くの合併症を発症した。実験的治療を実施せずに、高用量の蘇生輸液、広域抗菌薬、換気補助を使用した集中的支持療法により患者は完全に回復した。重度の EVD であっても、通常の集中治療により効果的に治療できることが示唆された。

原文（NEJM）を読む

重症エボラ、FX06 と集中治療で回復

2014 年 12 月 26 日 ソース：Lancet

文献：Wolf T, Severe Ebola virus disease with vascular leakage and multiorgan failure: treatment of a patient in intensive care. *Lancet*. 2014 Dec 18. pii:

S0140-6736(14)62384-9. doi: 10.1016/S0140-6736(14)62384-9. [Epub ahead of print]

発症 5 日後にドイツに搬送され、バイオセーフティーレベル 4 の隔離施設で集中治療を受けた重症エボラ出血熱の症例（38 歳男性医師）について報告。患者は多臓器不全を発症し、呼吸不全および血管漏出症候群で機械的換気を要した。FX06（臨床開発中のフィブリン由来ペプチド）の投与、広域抗菌薬治療、腎代替療法により、患者は完全に回復した。

原文（Lancet）を読む

医師不足への処方せん

「質の悪い医師増える」と高久氏、成田の医学部新設で 日医、医学会なども改めて反対を表明

2014年12月25日(木) 池田宏之 (m3.com 編集部)

千葉県成田市における国家戦略特区による医学部新設の検討を受けて、日本医師会、日本医学会、全国医学部長病院長会議は12月24日、医師養成数の過剰や現在の構想の不十分さを指摘した上で、「反対」を明言する会見を開いた(資料は、[日医のホームページ](#))。新設の影響について、会見者から「(募集停止する大学が相次ぐ)法科大学院のようになってはいけない」「質の悪い医師が増える」といった意見が出た。

132人に1人が医師になる可能性

会見には、3団体から9人が出席。日医の横倉義武会長が強調したのは、医師養成数の問題。2008年度から2015年度にかけて、年間の医師養成数は1,509人増加している点や、地域枠で入学した学生全員がまだ臨床現場に出ていない点を指摘して、「医師養成数に一定のめどがつきつつある」と述べた。さらに、人口減少の中で、1976年には437人に1人が医師になっていたのに対して、2014年には162人に1人となっているグラフを示し、現状の医学部定員数でも「2030年には132人に1人になる」として、医師過剰になるとの認識を示した。横倉会長は、医師1人の養成費用や地元医師会の反対にも言及した上で、



日本医師会の横倉義武会長(中央)や日本医学会の高久史麿会長(左)らは、改めて、千葉県成田市における医学部新設に反対する考えを示した。

「(成田への医学部新設は)反対。人口が減る中で、今後の医師養成数を検討した上で浸透に対応する必要がある」とした。「医師養成数を検討して対応」との表現について、「他の団体より表現が弱いのでは」との指摘に対して、横倉会長は、「トーンの違いはない」と足並みがそろっている点を強調した。

加えて、横倉会長が紹介したのは、法曹界の規制改革で、募集停止が多発している法科大学院。合格率に課題がある法科大学院は、入学者が9割減り、募集停止校が、74校中20校に上っている点を踏まえ、「医学部は、(法律系の大学と比べて)設備が極めて重い。法科大学院のようにならないようにと、強く申し上げたい」と話した。

「質の悪い医師増加、国民幸せでない」

日本医学会の高久史麿会長は、医学会の幹事会において、全員が新設に反対した点に言及し、「(現在までの定員増加で)医学生の質の低下を指摘するデータも出ている。質の悪い医師が増えるのは国民にとって幸せではない」とした。地域偏在などの問題について、

高久会長は、「国として考えていけないといけない問題」とした上で、地域医師会と大学で、協働して取り組む姿勢の重要性も強調した。

全国医学部長病院長会議副会長の甲能直幸氏は、成田市や国際医療福祉大学が示している「国際医療への貢献」「グローバルスタンダードの医療施設提供」などについて、「既存の大学で対応できる」と、同会議の従来主張を繰り返し、新設医学部が不要である点を指摘した（『成田市・新設医学部「陳腐」と批判』を参照）。同会議相談役の寺野彰氏は、国際医療福祉大学について、「栃木で計画があったときの目的は『地域医療』、神奈川の時『先端医療』だった。どこまで真剣なのか」と、同大学の姿勢を批判した。

成田の高度医療提供問題ない

同じく同会議相談役の河野陽一氏は、千葉県の実情を紹介。成田市のある印旛保健医療圏について、既に基準病床数を満たしている上に、成田赤十字病院と2つの大学病院の分院がある点を指摘して、「近くに高度医療病院が存在していて、高度医療の提供に問題はない」と述べた。成田市に600床規模の大学病院ができた際の影響について、「地域医療提供や看護師確保からすると、プラスよりアンバランスになる側面がある」と指摘した。

静岡「健康寿命」、日本一は静岡県 秘訣は居場所作り

朝日新聞 2015年1月1日(木)

静岡県は、介護を必要とせずに自立した生活を送れる期間の平均を示す「健康寿命」が日本一長い。2010年の厚生労働省の調査から県が独自算出すると、全国1位の73.53歳だったためだ。

ただ、平均寿命と健康寿命の間にはまだ7～11年の差がある。元気で長生きし、医療費を抑えるためにも改善の余地がある。そこで県は自治体間で健康づくりを競わせようと、65歳から何年間、健康に過ごせるかを示す「お達者度」を35市町別に公表した。男性の場合、最も長い森町と最も短い小山町では2年以上の差があった。

どうすれば健康で長生きできるのか。県は1999年から高齢者を対象に追跡調査を続けている。1万363人のデータを分析したところ、適切な運動習慣と食生活を送っている人は死亡率が32%低く、さらに地域活動やボランティアなどの社会参加をしていれば死亡率が51%低かった。

誰でも気軽に社会参加できる場、それが「居場所」だ。年齢や障害で区分される従来の福祉施設と違い、子どもからお年寄りまで一緒に過ごすというアイデアは1993年に開所したデイケアハウス「このゆびと一まれ」（富山市）から知られるようになり、全国に広まっている。

県は11年から高齢者だけでなく障害者や子どもも一体として福祉サービスを提供する「ふじのくに型福祉サービス」を始めた。その拠点の一つとして研修などを通じて「居場所」を広めようとしている。一部は立ち上げに県の補助金を活用し、14年8月現在、県内で約60カ所に増えた。

ただし、小桜義明・静岡大名誉教授は「民間の自主的な運営に任せないとサービスが画一的になりがち」と指摘する。その上で「社会的に孤立しやすい男性高齢者、低所得や借家住まいの高齢者をどう巻き込むかなど地域の特性を生かしつつ、先進的な取り組みをしてほしい」と求めている。

消費増税前後の医師給与と働き方

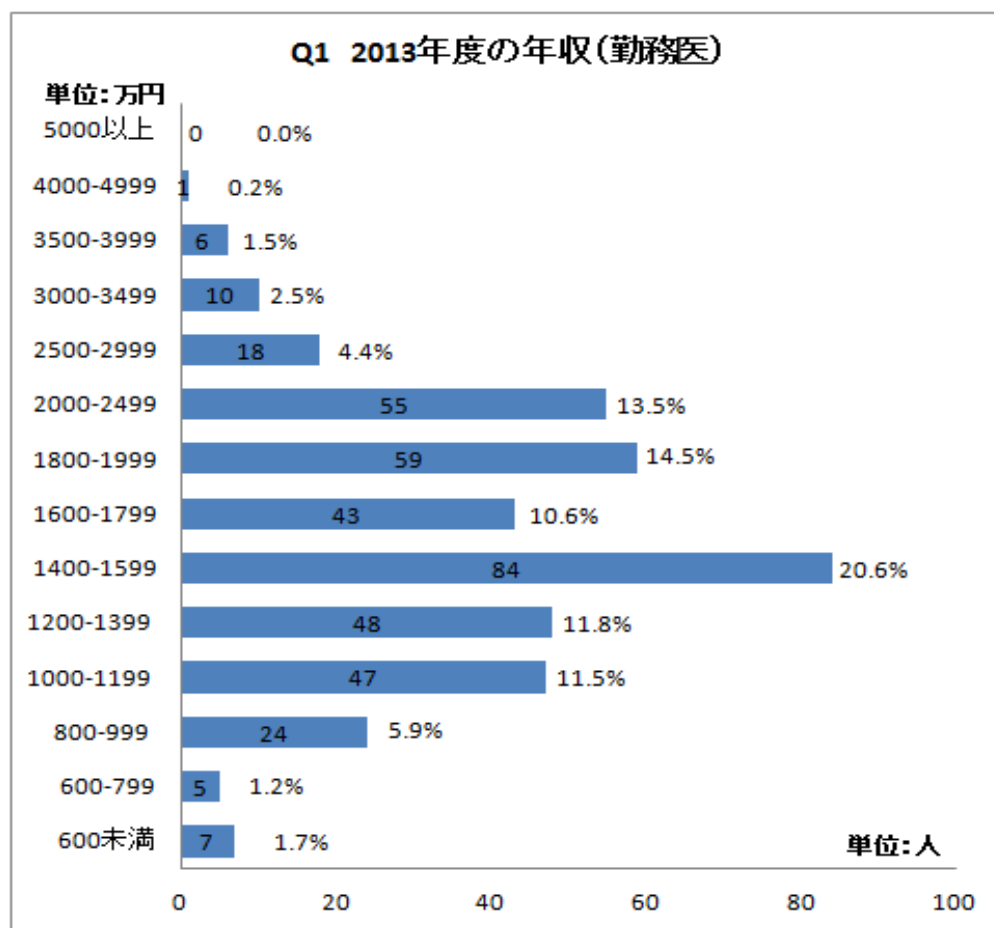
勤務医の平均年収 1611 万円、m3.com 調査 Vol.1

開業医は 2645 万円、医師 600 人の大調査

2014 年 5 月 29 日(木) 池田宏之 (m3.com 編集部)

2014 年 4 月 1 日から、消費税率が 5%から 8%に上がる一方、医療機関の経営の原資となる診療報酬は、2014 年 4 月から、名目上 0.1%増、消費増税対応分を除くと、実質 1.26%のマイナス改定となった。消費税率は、2015 年 10 月にも 10%へ引き上げが検討されている。

今回、m3.com の医師会員に対して、消費増税や今回の診療報酬改定がどう給与に影響し、どのように感じているかを聞くアンケートを企画した(実施日:2014 年 5 月 22 日から 27 日)。回答者は、勤務医が 412 人、開業医(医療機関経営者含む)が 192 人。収入への影響や仕事量との関係性などについて、随時掲載する。



Q.1 では 2013 年度の年収(主たる勤務先からの給与のほか、アルバイト先からの収入、原稿料・講演料などを含めた合計、税込)を聞いた。勤務医の平均年収は 1,611 万円、開業医は 2,645 万円となり、1,000 万円以上差が出る結果となった。

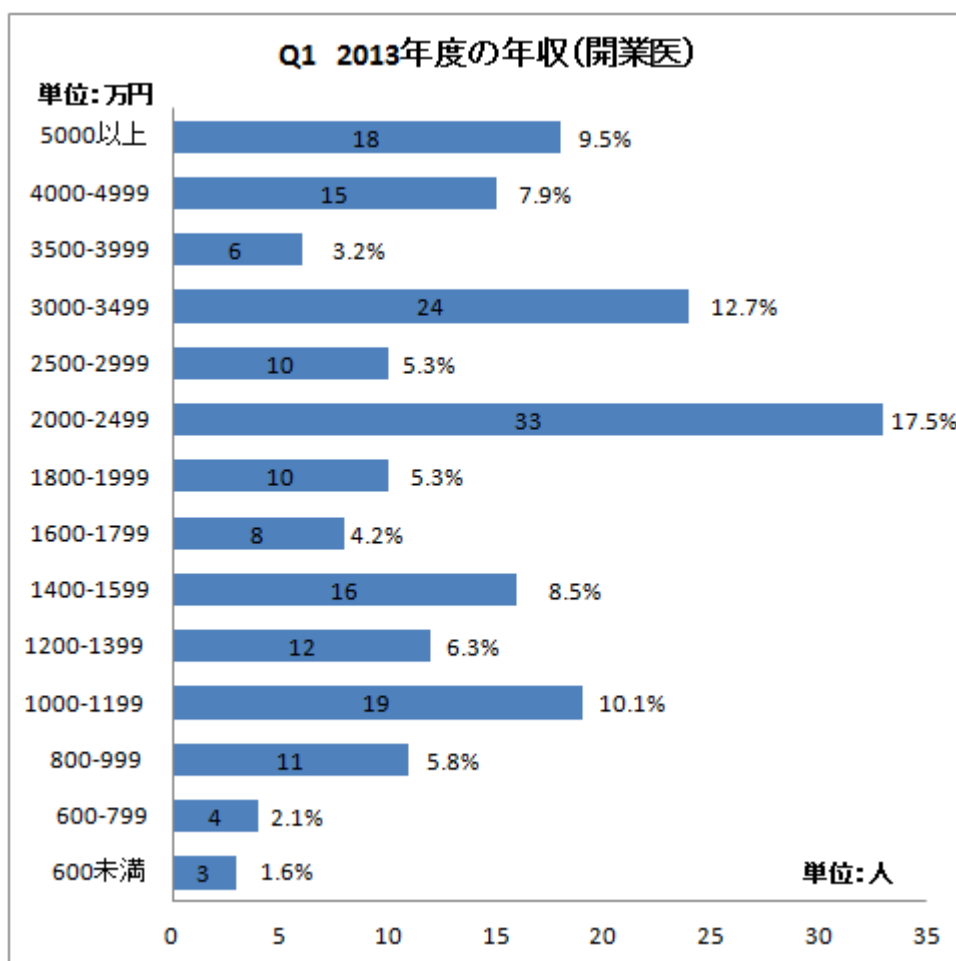
2012 年度の年収を調べた医療経済実態調査によると、病院や診療所の勤務医の年収は 1,336 万円から 1,590 万円となっていて、今回の調査は、回答者に占める割合が、卒後年数で「5 年未満」が 0.5%、「5 年以上 10 年未満」が 5.5%と少なく、高めに出了可能性が

ある（『年収 3,000 万円、医療法人病院長が最高額』を参照）。

医療経済実態調査では、一般診療所の院長の平均年収は 2,787 万円となっていて、こちらは 100 万円程度低い結果となった。

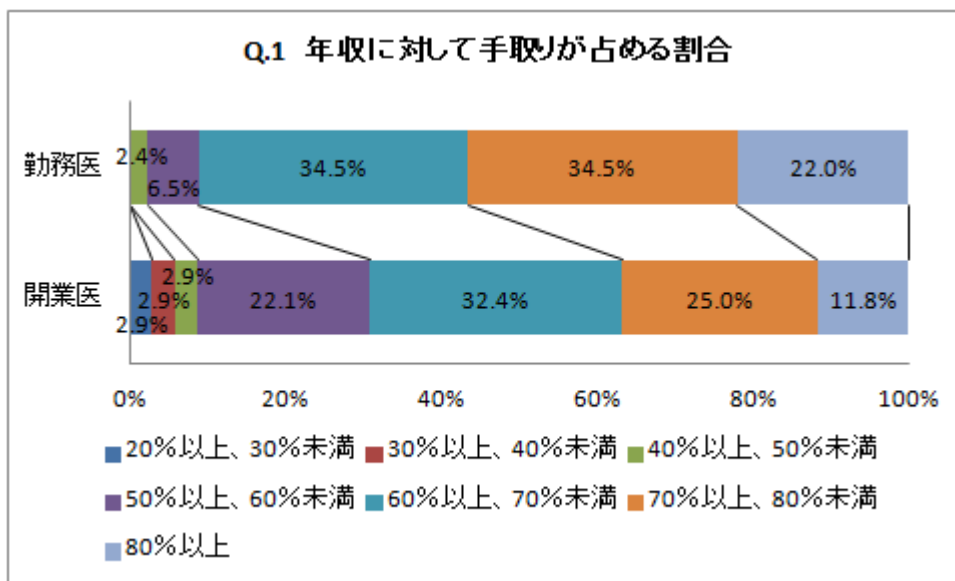
2,000 万円までは 200 万円刻み、2,000 万円以上は 500 万円刻みで見たところ、最も多かったのは、勤務医が「1,400 万～1,599 万円」で 20.6%、開業医が「2,000 万～2,499 万円」で 17.5%。

中央値は、勤務医が 1,500 万円、開業医が 2,000 万円となった。開業医は、「5,000 万円以上」との回答が 9.5%あり、平均年収を大きく引き上げた。

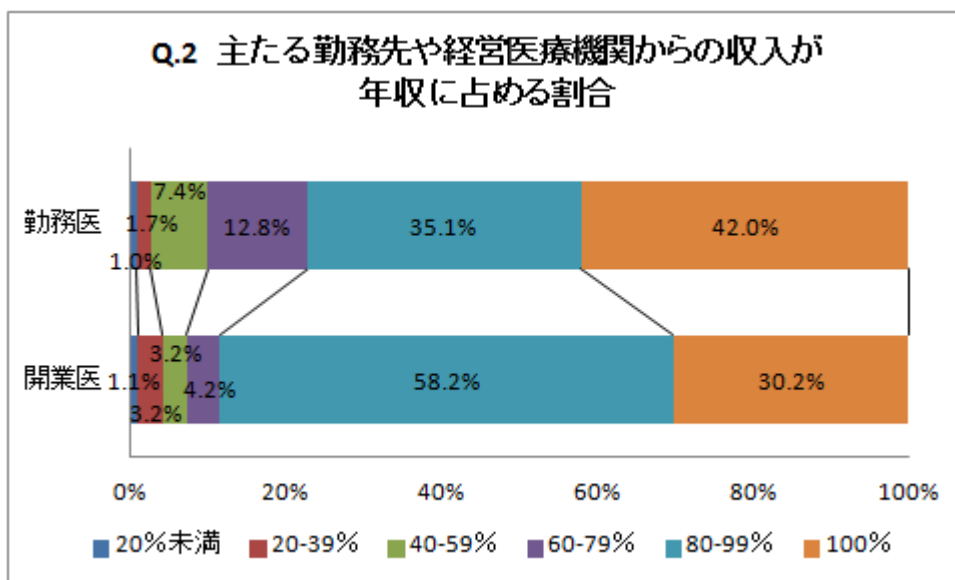


Q.1 平均年収に対する手取りの割合

Q-1 では、任意で、手取りの金額も任意で聞き、年収に対する割合を見た（有効回答：勤務医 168 人、開業医 68 人）。「手取り」の受け止められた方が、回答者ごとに違った可能性があるが、最も多かったのは勤務医で「60%以上、70%未満」「70%以上、80%未満」がそれぞれ 34.5%、開業医では「60%以上、70%未満」の 32.4%となった。中央値は、勤務医が 70.7%、開業医が 66.0%となった。



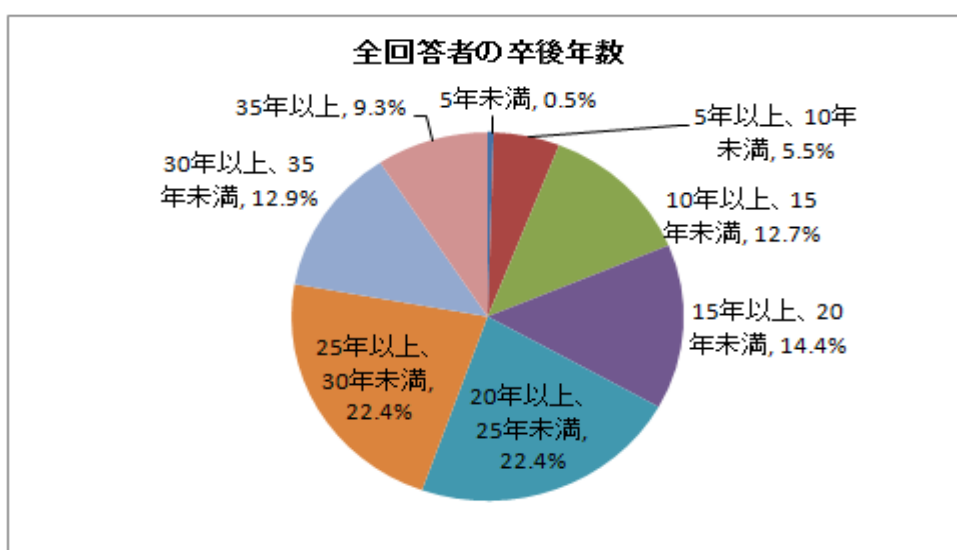
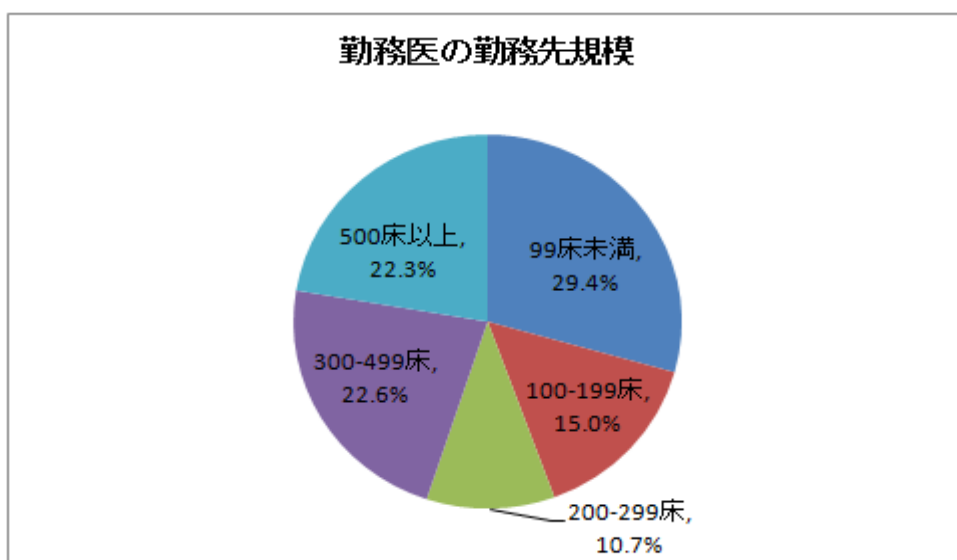
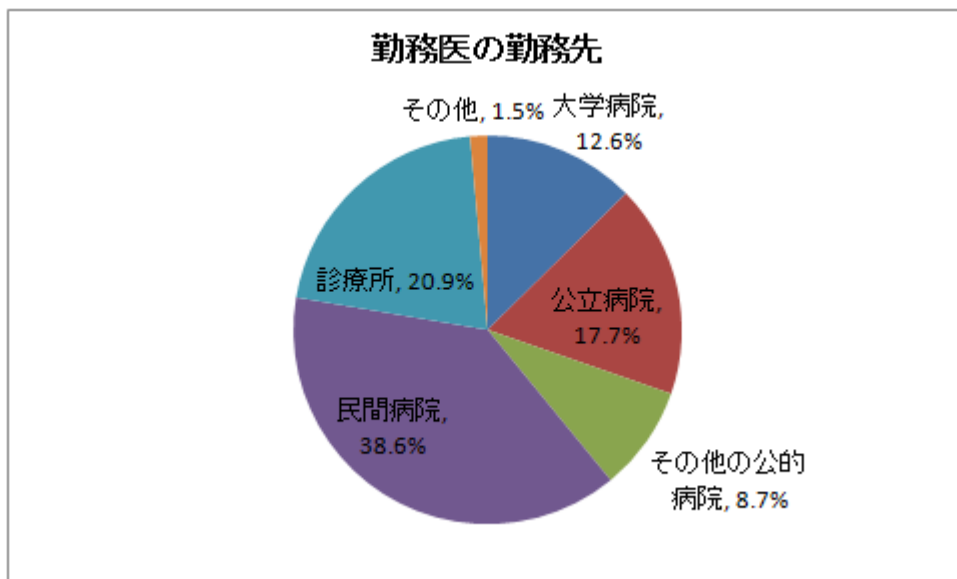
Q.2、主たる勤務先からの収入が、年収に占める割合

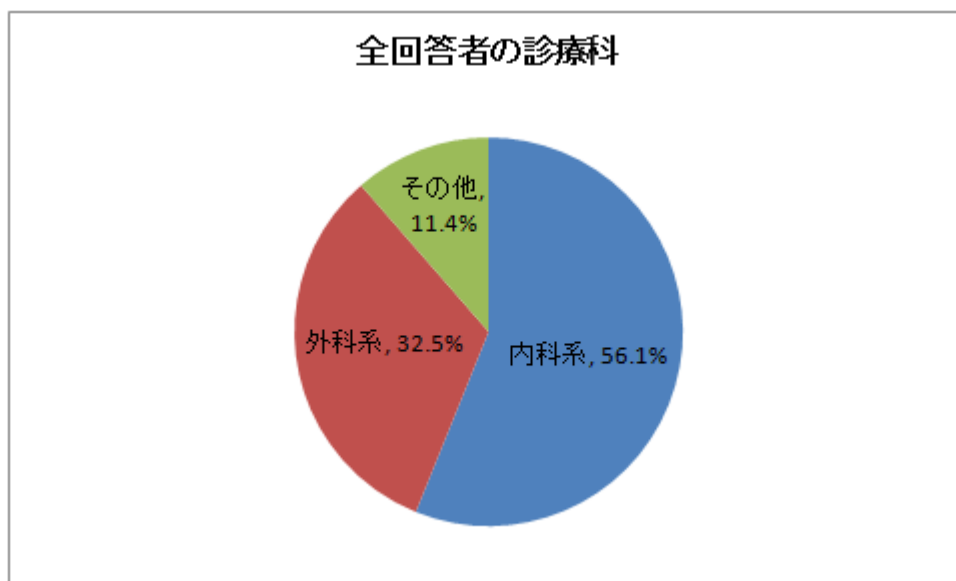


Q.2では、2013年の年収の中で、主たる勤務先（もしくは自身が経営している医療機関）からの収入が占める割合を聞いた。勤務医では「100%」が最多で42.0%、次いで「80-99%」35.1%。開業医では、「80-99%」が最多で58.2%、次いで「100%」が30.2%。勤務医は、「100%」の回答が最多だった一方、「80%未満」も22.9%おり、アルバイトなどで収入を得ていると見られる。中央値は、勤務医、開業医ともに95%となった。

Q.2では、2013年の年収の中で、主たる勤務先（もしくは自身が経営している医療機関）からの収入が占める割合を聞いた。勤務医では「100%」が最多で42.0%、次いで「80-99%」35.1%。開業医では、「80-99%」が最多で58.2%、次いで「100%」が30.2%。勤務医は、「100%」の回答が最多だった一方、「80%未満」も22.9%おり、アルバイトなどで収入を得ていると見られる。中央値は、勤務医、開業医ともに95%となった。7

回答者属性は以下の通り。





就寝前の飲酒は睡眠の質を低下させる

提供元：HealthDay News 2014年12月29日 ケアネット

米国人の5人に1人が寝付きをよくするために酒に頼ることがあるという。しかし、酒を飲むとその後の睡眠の質が低下する可能性があることが新たな研究で明らかにされた。

研究グループによると、その理由はアルコールにより睡眠の必要性を制御する脳システムが妨害されるためだという。「アルコールは人の概日リズム（身体に組み込まれた24時間の体内時計）を変化させることによって、睡眠を促進すると広く考えられていた」と、研究の筆頭著者である米ミズーリ大学医学部准教授のMahesh Thakkar氏はニュースリリースのなかで述べている。

「しかし実際には、アルコールは睡眠のホメオスタシス（眠気のある状態と覚醒状態を制御する脳の機構）に対して影響を及ぼすことによって、睡眠を促進することがわかった」とThakkar氏は話す。この睡眠のホメオスタシスに対するアルコールの影響が睡眠の質の低下をもたらすと、医学誌「Alcohol」に最近掲載された今回の研究では報告されている。

研究著者の1人で、同大学医学部神経学科長のPradeep Sahota氏は、「今回の結果に基づけば、寝付きをよくする目的で飲酒すべきでないことは明らかである」と指摘する。

「アルコールは睡眠を中断させ、睡眠の質を低下させる。さらに、アルコールには利尿作用があるため、トイレに行く必要から朝早く目覚める原因にもなる」と同氏は説明している。

Thakkar氏は、睡眠は重要な研究分野であるとし、「生涯の約3分の1の時間が睡眠に費やされている。20%の人が眠りにつくために飲酒していることを示す統計結果がある。この2点から、互いにどのように影響するかを理解することが重要である」と述べている。

「眠れないときは飲酒するべきではない。医師に相談して睡眠を妨げている要因を明らかにすれば、個別の治療で対処できる」と同氏は助言している。

原著論文; Thakkar MM, et al. Alcohol. 2014 Nov 11. [Epub ahead of print]

野菜多く食べる男性、胃がんリスク低下

読売新聞 2014年12月27日(土)

「抗酸化」影響か

野菜を多く食べる男性は、少ない男性よりも、日本人に多い下部胃がんを発症する割合が低いという調査結果を、国立がん研究センターが発表した。

生活習慣とがん発症の関連などについて1988年から追跡している四つの大規模調査の参加者約19万人を分析。野菜や果物を食べる量で5グループに分け、それぞれ胃がん発症の危険性を比べた。

平均11年間の追跡期間中に2,995人が胃がんになり、野菜も果物も最も多く取ったグループで発症の危険性が低下する傾向があった。一方、がんの部位別に分析できる約15万人について調べると、胃の上部3分の1に発症したのは258人、その下の部分に発症したのは1,412人で、下部胃がんについては、野菜を最も多く取った男性は、最も少なかった男性に比べ、発症の危険性が78%に下がった。男性より野菜を多く取る女性については差が見られなかった。

心不全の兆候、息吹きかけるだけで診断 国立循環器病研究センターが開発着手

朝日新聞 2014年12月26日(金)

息を吹きかけるだけで、心不全の兆候をとらえよう——。将来の診断法を開発するため、国立循環器病研究センター(大阪府吹田市)の研究チームは心不全患者の呼気に含まれる成分の解析を始めた。痛みを伴う血液検査を減らし、気軽に受けられる診断法の開発をめざす。

研究チームの菅野康夫医師(心臓血管内科)によると、呼気を利用した検査はピロリ菌の有無判定などがあるが、他の病気との関連はほとんどわかっていないのが現状だという。

菅野さんらは呼気には1,800種類以上のガス成分が含まれることに着目。心不全などを起こして代謝に異常が起きると、低酸素状態になるなどして呼気中に含まれるガス成分の濃度が変わる可能性があるとして想定。診断の目印にできるかどうかを調べることにした。

研究は国循に入院している心筋梗塞(こうそく)など心不全患者を対象に、2年間で計200人を調べる。呼気中にわずかに含まれるアセトンや一酸化窒素、硫化水素などの濃度を定期的に測り、血液検査の値や、症状の変化などとの関連性を解析する。

菅野さんは「心不全患者では呼気のアセトン濃度が高いという海外の論文もある。ただ確立した説ではなく未知の部分が多いが、呼気測定が利用できるかどうか探っていきたい」と話している。(野中良祐)

トイレのハンドドライヤーはペーパータオルよりも細菌をまき散らす

提供元: HealthDay News 公開日: 2014/12/08

公衆トイレの温風式ハンドドライヤーは、従来のペーパータオルよりもはるかに多くの細菌を拡散する可能性があることが新たな研究でわかった。

この研究では、手洗いが不十分な状態を再現するために、ボランティアの手に無害な細菌を付着させた。その後で温風を出すハンドドライヤー、強力な「ジェットエア」ドライ

ヤー、またはペーパータオルを使って手を乾かしてもらった。

空中に浮遊している細菌の量を測定したところ、ペーパータオルの場合よりも2種類のドライヤーのほうが、周囲の細菌量が多くなっていた。最も悪い結果だったのはジェットエアドライヤーで、周囲の浮遊菌量は温風ドライヤーの4.5倍、ペーパータオルの27倍だった。

7 またハンドドライヤー使用後は、時間が経っても細菌は空中に留まることもわかった。使用後5分以上経過しても周囲には細菌の48%が残存しており、15分後も細菌が検出された。

研究著者の1人である英リーズ大学のMark Wilcox氏は、「公衆トイレでハンドドライヤーを使って手を乾かすと、知らないうちに細菌を拡散している可能性がある。また、他人の手の細菌をあびている可能性もある。この研究結果は、疾患や病気を媒介しうる細菌がどのように広がるかを理解するうえで重要だ」と話す。

この研究結果は「Journal of Hospital Infection」11月20日号に掲載され、仏リヨンで開催されたヘルスケア感染学会（HIS）国際会議でも発表された。

[2014年11月21日/HealthDayNews]Copyright (c) 2014 HealthDay. All rights reserved.

[利用規定はこちら](#)

原著論文 ; Best EL, et al. J Hosp Infect. 2014;88:199-206.

アタモス環境関連ニュース

セブンイレブン、生ごみ処理機を設置 液体肥料にリサイクルする研究スタート

2014年12月12日掲載

セブン&アイ・ホールディングスは、化学メーカーのクラレ、東京農業大学、東北大学等と連携して店舗から出る食品残渣の液体肥料化、液体肥料の野菜栽培への活用等の研究に着手した。

今回の事業では、まず2015年2月よりセブンイレブン数十店舗にクラレ等と開発したオリジナル仕様の小型生ごみ処理機を設置し、食品残渣の液体（分解液）化の運用検証を進めていく。既に東京農業大学と、分解液を使った栽培試験については実施中である。同時に、東北大学との連携により、分解液の液体肥料化、その活用に関する研究も開始する。

ビッグデータ解析でゴミ焼却発電プラントの異常を予測 日立造船・IBM が検証へ

2014年12月5日掲載

日立造船と日本IBMは、ごみ焼却発電プラントにおける「燃焼の異常検知」と「燃焼の安定・最適燃焼値の導出」を中心とする最適運転管理システムの構築に関する取り組みを開始する。

今回の取り組みでは、日立造船が長年蓄積してきたビッグデータなどに、高度な数理解析技術を適用して不具合や異常、故障を予測し、問題が起きる前に具体的な対策案を提示する日本IBMのソリューション「Predictive Asset Optimization (PAO)」を適用する。

東京都、2024年に再エネ比率を20%に 業務用コージェネを2倍など対策発表

2014年12月1日掲載

東京都は、都内の消費電力に占める再生可能エネルギーの割合を、2012年の6%から、2024年に20%程度に高めるという目標を設定した。

分野ごとの個別目標も合わせて示した。2024年までに都内太陽光発電導入量は、2012年度比約4倍の100万kWとする。率先行動として、2020年までに都府県への太陽光発電を2万2千kW導入する。2024年までに業務用コージェネレーションシステム導入を、2012年度比約2倍の60万kWとする。

都が10年後を見据えた再エネ拡大の明確な方針を示すことで、将来にわたる再エネ拡大の機運を喚起し、都民・事業者による再エネ導入を促し、更なるコスト削減や技術開発を誘導する。

都は、有識者会議「東京都再生可能エネルギー拡大検討会」を設置し、再エネの利用割合20%の実現に向けた検討を行ってきた。27日に開催した本検討会で、「東京都再生可能エネルギー拡大検討会報告書 ー再生可能エネルギー導入拡大に向けた提言ー」を取りまとめ、再エネ導入目標や、その実現に向けた具体策、工程表について示した。

沖縄県の下水处理施設、下水汚泥からバイオガスを生成 39円/kWhで売電

2014年12月15日掲載

東芝は、沖縄県宜野湾市の下水処理施設において、日水コンなど4社とともに、官民連携による消化ガスを使った発電事業を実施すると発表した。2016年からの事業開始を目指す。

同社は、上下水道施設のコンサルタント会社の日水コン（東京都新宿区）、月島機械、月島テクノメンテサービス、沖縄小堀電機とのコンソーシアムで、宜野湾浄化センターにおける再生可能エネルギー発電事業についての基本協定を沖縄県と12日に締結した。今後、事業内容の検討を進め、事業契約を締結する。

東京都、建設リサイクル法の一斉パトロール 石綿処理に関する指導はなし

2014年12月18日掲載

東京都は、建設リサイクル法に関する一斉パトロールを実施した結果、石綿（アスベスト）に係る処理に関する指導等を行った事案はなかったと発表した。10月1日～31日、建設リサイクル法の届出があった2,448件のうち約3割に当たる721件に対してパトロールを行った結果、標識の未掲示等が確認された現場において「法に基づく助言」を16件、その他「法に基づかない指導等（軽微な事項や他法令違反の場合等）」を302件実施した。

荏原グループ、長野県で可燃ゴミを使った廃棄物発電プラントを建設・運営

2014年12月19日掲載

荏原グループの荏原環境プラントは、南信州広域連合より「次期ごみ処理施設整備・運営事業（仮称）」を受注したと発表した。

同事業は、長野県飯田市ほか3町9村の可燃ごみほかを、安定的かつ効率的に焼却処理し、熱エネルギーによる発電を行う施設を設計・建設し、運営までを行うもの。竣工予定は2017年11月の予定で、事業期間は20年間。事業費は119.9億円。

日本の電力技術は遅れている、と言うべき日がきた 安田 陽

2014年12月22日号掲載

12月16日(火)に行われた経済産業省 新エネルギー小委員会 第3回系統ワーキンググループ（以下系統WG）で電力7社からの解析結果が提出され、「接続可能量」や拡大方針が言及されました。本コラムでも2014年10月6日号、10月13日号、10月20日号、11月3日号において「接続保留」問題を取り上げてきましたが、今回もその続編という位置づけで、系統WG資料について速報的にコメントします。

結論から先に言うと、第3回系統WGで電力各社から提出された資料は、大きな失望を隠せない内容でした。失望の主な理由は、あまりに志の低い数値だけでなく、電力会社の情報収集能力の低さや国際感覚の欠如が感じ取れたからです。

これらの資料を読むと率直に、日本の電力技術は遅れている、と言わざるを得ません。しかも先進国の中ではもはやビリの方に近いかも知れません。他国と先頭集団となつて一緒に走っているつもりかもしれませんが、実は周回遅れだったりします。